

資料2

令和2年度地域支援事業について

- I 令和2年度地域支援事業、地域包括支援センターの運営状況
- II 令和2年度構成市町における地域支援事業の実施状況
- III 令和2年度構成市町主催による地域ケア推進会議の実施報告

令和3年9月28日
佐賀中部広域連合
介護保険運営協議会

目 次

I 令和２年度地域支援事業、地域包括支援センターの運営状況・・・・・・・・・・ 1

《令和２年度地域包括支援センターの運営状況資料》

- ① 令和２年度 地域包括支援センターの設置状況・・・・・・・・・・ 5
- ② 総合相談支援、権利擁護業務、高齢者虐待に関する事の件数・・・・・・ 6
- ③ 指定介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメントにおける委託件数及び
委託先事業所の状況・・・・・・・・・・ 7

II 令和２年度構成市町における地域支援事業の実施状況

令和２年度における介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業等）、包
括的支援事業（社会保障充実分）任意事業の実施状況

・佐賀市	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 0
・多久市	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 7
・小城市	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 3
・神埼市	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 9
・吉野ヶ里町	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 5

III 令和２年構成市町主催による地域ケア推進会議の実施報告・・・・・・・・・・ 4 1

I 令和2年度 地域支援事業、地域包括支援センターの運営状況の集約

1 介護予防・日常生活支援総合事業 一般介護予防事業

① 介護予防普及啓発事業

介護予防の普及啓発に資する運動教室など各種介護予防教室や、介護予防に関する基本的な知識を啓発するための講演会、相談会等を構成市町において開催した。

事業	実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
相談会等	回数	170 回	129 回	24 回	0 回	17 回	0 回
	延べ参加者	2,110 人	1,657 人	43 人	0 人	410 人	0 人
介護予防教室等	回数	2,597 回	532 回	392 回	522 回	869 回	282 回
	延べ参加者	35,902 人	5,195 人	18,287 人	964 人	8,614 人	2,842 人

② 地域介護予防活動支援事業

構成市町における介護予防活動の地域展開を目指し、ボランティア等の人材を育成や住民主体の通いの場等の活動を支援した。

(1) サポート事業【広域連合が実施】

ア 登録者数 985名 イ 受入協力施設 78施設

(2) ボランティア人材等への研修、育成、支援等

ア 介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
回数	1,100 回	0	11	0	1,089	0
延べ参加者	5,628 人	0	156	0	5,472	0

イ 介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
回数	427 回	190	随時	63	55	119
延べ参加者	9,157 人	2,947	640	881	694	3,995

ウ 社会活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
回数	6,059 回	3,479	50	1,001	1,439	90
延べ参加者	86,730 人	58,934	15,904	8,237	2,018	1,637

③ 地域リハビリテーション活動支援事業【広域連合が実施】

(1) 住民主体の通いの場等への専門職員の派遣

リハビリテーションに関する専門的見地を有する介護予防推進員を、住民主体の通いの場等に派遣し、運動方法の具体的な指導や介護予防講話等を実施した。

ア 自主グループ等への派遣 208団体

イ 介護予防講和の実施 19団体

(2) 介護予防推進員派遣事業（ケアマネジメント支援）

ケアマネジャーの自立支援に資するマネジメント支援を目的にリハビリ3団体

の協力のもと、リハビリテーション専門職の派遣を行う事業を実施した。

ア 理学療法士 7件 イ 作業療法士 0件 ウ 言語聴覚士 1件

2 包括的支援事業（社会保障充実分以外）【地域包括支援センター】

① 介護予防ケアマネジメント業務

要支援者等に対して、高齢者の自立支援を目的として、その心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、介護予防・日常生活支援総合事業等における適切なサービスが包括的かつ効率的に実施されるよう介護予防ケアマネジメント業務を行った。

(1) 令和3年3月の請求件数 直接 1,339件

(2) 〃 委託 364件

合計 1,703件

② 総合相談支援業務

地域包括支援センターにおいて地域における総合相談窓口として、高齢者に関する様々な相談を受け、適切なサービス機関や制度の利用に繋げる等の支援を行った。

相談内容	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
①介護保険、保健福祉サービス等に関すること	19,952件	14,464	737	2,122	1,659	970
②権利擁護（成年後見制度）に関すること	420件	367	4	8	17	24
③高齢者虐待に関すること	287件	242	5	27	5	8
合計	20,659件	15,073	746	2,157	1,681	1,002

③ 権利擁護業務

専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援を行った。

④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の関係機関と連携・協力の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援などを実施した。

また、個別ケースの事例検討を通じた個別課題の解決、ネットワークの構築及び地域課題の発見を目的とする地域ケア会議（おたっしや本舗地域ケア会議）を開催し、要支援者等の自立支援等に向けた個別課題の解決や介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメント実践力の向上に向けた支援を行った。

(1) 地域ケア会議の開催状況 開催回数 123回

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
開催回数	123回	85回	8回	15回	11回	4回
取扱事例数	129件	84件	10件	11件	18件	6件

3 包括的支援事業（社会保障充実分）

① 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供することを目的として、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進した。

② 生活支援体制整備事業

(1) 生活支援コーディネータの配置

生活支援等サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図るために、生活支援コーディネーターを配置し取組みを推進した。

ア 第1層生活支援コーディネーター 構成市町に1名ずつ

イ 第2層生活支援コーディネーター 地域包括支援センターに1名ずつ

※認知症地域支援推進員と兼務

(2) 協議体の設置

生活支援等サービスの体制整備に向けて、生活支援コーディネーターと生活支援等サービスの多様な提供主体等が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場として、各構成市町において協議体を設置し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制を整備した。

③ 認知症総合支援事業

(1) 認知症初期集中支援推進事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を構成市町において設置し、早期診断、早期対応に向けた支援体制づくりに努めた。

(2) 認知症地域支援・ケア向上事業

医療・介護等の連携強化等による地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図るため、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を各構成市町に1名配置し、取組を推進した。

4 任意事業

① 家族介護支援事業

(1) 家族介護教室

家族を介護する者が、介護の知識・技術の習得、外部サービスの適切な利用方法を習得するための教室等を実施した。

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
開催回数	18回	2	3	11	0	2

参加人数	210 人	26	52	62	0	70
------	-------	----	----	----	---	----

(2) 介護用品支給事業

加齢に伴う心身の機能低下により、自らの排泄行動等に支障をきたす高齢者に対し、紙おむつ等を支給した。

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
利用人数	72 人	32 人	11 人	10 人	17 人	2 人

② 成年後見制度利用支援事業

判断能力が不十分な認知症高齢者等で、親族などによる後見など開始の審判の申し立てを行うことができない方の市町村申立てにおいて、低所得の高齢者に対して市町村申立てに要する費用や後見人の報酬の助成等を行った。

区分	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
申立て件数	19 回	18 回	0 回	1 回	0 回	0 回
後見人の報酬の助成件数	47 件	36 件	1 件	8 件	2 件	0 件

③ 地域自立生活支援事業

栄養改善が必要な高齢者に対する配食の支援を活用し、高齢者の安否確認等その状況を定期的に把握する事業等を実施した。

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町
実利用者数	301 人	41	70	49	63	78
延べ利用回数	50,426 回	2,294	16,808	12,790	9,953	8,581

《令和2年度地域包括支援センターの運営状況資料》

①令和2年度 地域包括支援センターの設置状況

(令和3年3月末現在)

市町	地域包括支援センター		担当地区	担当地区の概要				令和2年度職員数				
				人口	高齢者数 (65歳以上)	高齢化率	要支援認定者数	地域包括支援センター			介護予防支援担当	合計
								保健師	社会福祉士	主任介護専門員		
佐賀市	1	佐賀	勸興・神野	17,994	4,838	26.9%	390	4	3	1	5	13
	2	城南	赤松・北川副	20,816	5,749	27.6%	516	1	1	1	3	6
	3	昭栄	日新・嘉瀬・新栄	21,020	6,642	31.6%	543	1	1	2	4	8
	4	城東	循誘・巨勢・兵庫	29,948	6,657	22.2%	501	1	2	1	5	9
	5	城西	西与賀・本庄	17,835	4,827	27.1%	393	1	1	1	2	5
	6	城北	高木瀬・若楠	22,036	6,398	29.0%	503	2	1	1	3	7
	7	金泉	金立・久保泉	8,176	2,952	36.1%	240	1	1	1	1	4
	8	鍋島	鍋島・開成	22,102	5,427	24.6%	347	1	1	1	1	4
	9	諸富・蓮池	諸富町・蓮池	11,890	4,093	34.4%	314	1	1	1	2	5
	10	大和	大和町	23,267	6,479	27.8%	423	2	1	1	2	6
	11	富士	富士町	3,474	1,512	43.5%	101	1	1	0	0	2
	12	三瀬	三瀬村	1,205	518	43.0%	43	0	1	0	0	1
	13	川副	川副町	15,582	5,471	35.1%	418	1	1	1	3	6
	14	東与賀	東与賀町	8,020	2,200	27.4%	153	1	1	0	1	3
	15	久保田	久保田町	7,727	2,220	28.7%	149	1	1	0	1	3
	合 計			231,092	65,983	28.6%	5,034	19	18	12	33	82
多久市	16	多久市	多久市	18,685	6,817	36.5%	448	1	1	3	1	6
小城市	17	小城	三日月町	14,243	3,189	22.4%	177	1	1	1	3	6
	18	小城北	小城町	15,498	4,933	31.8%	346	1	1	1	3	6
	19	小城南	牛津町・芦刈町	15,196	4,844	31.9%	330	1	1	1	2	5
	合 計			44,937	12,966	28.9%	853	3	3	3	8	17
神埼市	20	神埼	神埼町	18,817	5,644	30.0%	394	2	2	1	4	9
	21	神埼北	脊振町	1,438	616	42.8%	44	1	0	0	0	1
	22	神埼南	千代田町	10,865	3,559	32.8%	211	1	1	1	2	5
	合計			31,120	9,819	31.6%	649	4	3	2	6	15
吉野ヶ里町	23	吉野ヶ里	吉野ヶ里町	16,204	4,025	24.8%	214	1	1	1	2	5
全包括 合計				342,038	99,610	29.1%	7,198	28	26	21	50	125

② 総合相談支援、権利擁護業務、高齢者虐待に関する事の件数

市町	センター		介護保険その他の 保健福祉サービス に関すること	権利擁護 (成年後見制度等) に関すること	高齢者虐待に 関すること	うち、虐待と判定 された事例数	合計
佐賀市	1	佐賀	2,013	52	36	0	2,101
	2	城南	1,149	67	25	0	1,241
	3	昭栄	1,006	12	18	0	1,036
	4	城東	848	24	5	0	877
	5	城西	762	29	9	0	800
	6	城北	1,476	34	46	2	1,556
	7	金泉	671	11	1	0	683
	8	鍋島	1,914	18	21	1	1,953
	9	諸富・蓮池	488	2	10	0	500
	10	大和	840	15	18	0	873
	11	富士	312	13	4	0	329
	12	三瀬	528	0	0	0	528
	13	川副	747	21	3	1	771
	14	東与賀	423	7	4	0	434
	15	久保田	1,287	62	42	0	1,391
佐賀市 計			14,464	367	242	4	15,073
多久市	16	多久	737	4	5	1	746
	多久市 計		737	4	5	1	746
小城市	17	小城	578	3	3	2	584
	18	小城北	1,139	3	24	1	1,166
	19	小城南	405	2	0	0	407
	小城市 計		2,122	8	27	3	2,157
神埼市	20	神埼	754	6	4	2	764
	21	神埼北	75	0	0	0	75
	22	神埼南	830	11	1	0	842
	神埼市 計		1,659	17	5	2	1,681
吉野ヶ里町	23	吉野ヶ里	970	24	8	0	1,002
	吉野ヶ里町 計		970	24	8	0	1,002
合計			19,952	420	287	10	20,659

令和2年度介護予防支援および介護予防ケアマネジメント委託先一覧表(3月分)

委託先の所在地	索引	合 計	佐賀	城南	昭栄	城東	城西	城北	金泉	鍋島	諸富・蓮池	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	多久	小城	小城北	小城南	神埼	神埼北	神埼南	吉野ヶ里	合計				
			68	63	72	79	66	58	42	120	13	94	22	9	79	0	20	167	8	29	5	42	2	2	60	756	364	1120		
佐賀市																														
あ	居宅介護支援事業所 青空	4	0	2	1	1	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	14	6	20		
	アイケア佐賀	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2		
	居宅介護支援事業所ありんこ	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4		
	ケアマネジメントサービス杏の樹	1	4	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	9		
	医療法人杏仁会 ケアセンターANZU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
う	介護支援サービスセンター う	5	1	0	17	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	19	8	27		
	ウエルネス開成	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	1	6		
	介護支援サービスセンター エバーグリーン	0	0	15	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	12	19		
え	居宅介護支援事業所おそえがわ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
	お世話宅配便	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2		
か	かほるケアサービス	0	2	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	7		
	居宅介護支援センター かすみ草	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
き	居宅介護支援 紀水苑	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
	居宅介護支援センターきはら	1	6	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	9		
	ケアセンターきぼう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
	きらめき新郷	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2		
	きりん 居宅介護支援事業所	1	1	0	3	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	11	5	16		
く	居宅介護支援事業所クローバー	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3		
	居宅介護支援事業所ケアベリッジ夢咲	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5		
け	ケアパートナー佐賀居宅介護支援事業所	3	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	9		
	ケアマネジメントサービス 桂寿苑	2	0	2	8	1	7	17	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	23	19	42		
	居宅介護支援センターけやき荘	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	17	32		
	ケアマネジメント ケアポート晴寿	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6		
	神野診療所 ケアマネジメントサービス	2	1	1	2	1	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	11	10	21		
こ	ケアプランセンターこもれび	1	0	0	2	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	1	9	
	ケアプランセンターさとう	0	0	0	3	13	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17	12	29		
	佐賀市社会福祉協議会居宅介護支援事業所南前事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	地域医療推進機構佐賀中部病院付属居宅介護支援事業所	0	1	1	2	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	11		
	佐賀整肢学園・オックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
さ	佐賀整肢学園居宅介護支援事業所	5	0	0	0	0	3	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	9	15		
	居宅介護支援事業所さくら	1	2	5	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	11		
	サンビューさが指定居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	Seedケアマネジメント	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3		
	シオンの園ケアマネジメントサ	2	0	0	0	0	3	0	5	0	12	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	23	5	28		
	シオンの園ケアマネジメントサービスが	1	5	4	2	1	0	0	2	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20	30		
	居宅介護支援事業所シニアライフ佐賀	0	0	4	0	0	5	0	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	11	8	19		
	居宅介護支援事業所春庵	0	0	1	0	0	2	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	11		
	しょうぶ苑居宅介護支援センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	10		
	徐福の里居宅介護支援事業所	0	0	0	0	3	1	0	1	0	9	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12	5	17		
し	居宅介護支援事業所 シルバーケア佐賀	1	1	2	0	0	5	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	12	5	17		
	シルバーケア三瀬居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	9		
	居宅介護支援事業所 SINみらい	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6		
	指定居宅介護支援事業所 すこやか	1	1	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7		
	居宅介護支援事業所スマイル	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4		
す	ケアマネジメントサービス セイジュ	5	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	7		
	居宅介護支援事業所スマイル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4		
せ	扇寿荘 居宅介護支援	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4	7		
	セントケア佐賀	0	1	1	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	3	8		
	居宅介護支援事業所空	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
そ	たすけあい佐賀ケアプランサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
た	居宅介護支援事業所ちとせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1		
ち	つなぐ	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2		
つ	つばみ荘	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	14		
つ	ケアプランセンターディーフェスタ東与賀	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3		
と	トンボの里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
て	居宅介護支援ながせ	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4		
な	なごみ荘ケアマネジメントサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	10		
	居宅介護支援センターなんてん	0	0	3	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0																

令和2年度介護予防支援および介護予防ケアマネジメント委託先一覧表(3月分)

[illegible]

令和2年度介護予防支援および介護予防ケアマネジメント委託先一覧表(3月分)

[illegible]

令和2年度 主要事業の実施状況の概要 【 佐賀市 】

1 新規事業について

○データ活用による介護予防推進事業

高齢者の医療・介護・健診データ等を活用し、生活習慣病やフレイル等の重症化、重度化のリスクの高い高齢者を抽出し、状態に応じて保健師等専門職が個訪問等により、運動・栄養などの保健指導や通いの場への参加支援等を行う。

高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ） 支援者数32人

通いの場等への関与（ポピュレーションアプローチ） 124ヶ所

○あんしん見守り事前登録事業

徘徊等により行方不明になる恐れがある人の情報（氏名、住所、身体的特徴、緊急連絡先、写真等）を事前に登録し、警察署と情報共有、連携を図ることにより、万が一行方不明などの緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。

登録者に登録番号、専用QRコードが印字されたアイロンプリントシールを配布

登録者数56名

2 継続事業（主な事業）について

○認知症施策

認知症は、佐賀市の要介護認定者の3割を占め、要因の1位となっており、予防や相談体制の充実を図る。

- ・もの忘れ相談室、認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座
認知機能の低下した高齢者の情報提供（運転免許取り消し、自主返納者）、
認知症初期集中チーム

○介護予防教室

高齢者に健康や介護予防に関する正しい知識を身につけていただけるよう、各種運動教室や保健師等による健康講話等を実施

- ・センター版元気アップ教室、地域版元気アップ教室、街なか元気アップ教室

音楽サロン教室、脳若教室、脳いきいき健康塾自主グループ

地域で実施する教室に対し自主グループによる運営ができるよう支援する。

- ・介護予防支援者養成講座、通いの場支援事業

3 課題について

○介護人材の確保：介護施設の移転・閉鎖

○新型コロナウイルスの影響：QOLの低下、安否確認

○地域包括ケアシステムの構築：介護予防、生活支援、在宅医療介護の連携

令和2年度・地域支援事業実施状況(佐賀市)

地域支援事業費合計

1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和2年度)

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

(ア) 訪問型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
訪問型サービスB	要支援者・事業対象者	掃除、洗濯、調理、薬の受け取りなど日常生活の困りごとに対する生活支援サービスを提供する団体に対し、助成を行う。	33人	
訪問型サービスD	要支援者・事業対象者	通所型サービスや一般介護予防事業における送迎を実施する団体に対し、助成を行う。	63人 61人	

(イ) 通所型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
通所型サービスC	要支援者・事業対象者	運動、栄養、口腔等の「心身機能」、「活動」や「参加」といった生活機能が低下し始めている高齢者に対し、専門職による短期間の集中的なプログラムにより、状態を改善・向上するようにする。	3人	37回
通所型サービスB	要支援者・事業対象者	運動やレクリエーションなどの介護予防に資する活動で、週に1回以上の通所をする団体に対し、助成を行う。	19人 34人	

(2) 一般介護予防事業(令和2年度)

(ア) 介護予防把握事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・訪問による把握 ・電話による把握 ・その他()		

(2) 一般介護予防事業(令和2年度)

(イ) 介護予防普及啓発事業

① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布

事業名	対象者	実施内容	開催回数	参加者数(実)	参加者数(延)
生活情報誌記事など掲載事業	佐賀市民	市が実施している介護予防事業の普及啓発を生活情報誌、ラッピングバス、パンフレットなどの様々な媒体を用いて周知する。	市報さが2月1日号 1回 ぶらざ5月号、4月号 2回		

② 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するための有識者等による講演会や相談会等の開催

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
高齢者健康教育事業	65歳以上の高齢者	・サロン・老人会・自治会等、一般市民を対象に介護予防の健康講話や実技指導を行う。	・開催回数(講演) 124回		1,650人
ものわすれ相談室	佐賀市に住所を有する者及び家族等で認知症に関する相談を希望する者	・認知症や物忘れに関する一次的な相談窓口として、相談室を月2回開設し、医師や介護の専門職が相談にあたり、早期発見・早期治療・進行予防を図るとともに、適切なケアに結びつける。	・開催回数(講演) ・開催回数(相談) 5回		7人

令和2年度・地域支援事業実施状況(佐賀市)

③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔に係る介護予防教室等の開催

(1)運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
センター版元気アップ教室	65歳以上の高齢者 (要介護認定者を除く)	運動器機能向上に加え、栄養・口腔の対象者への個別・全体指導を実施 事業所に委託して実施→指名競争入札による	・開催回数 センター版元気アップ教室 382回	260人	3,285人
地域版元気アップ教室	65歳以上の高齢者	運動機能向上に加え、栄養・口腔の対象者への個別・全体指導を地域の団地等で実施する。また、4か月の教室終了後は自主活動として運動を継続してもらうことを前提としている。	・開催回数 地域版元気アップ教室 64回 地域版 ダンベル体験会 3回	66人 34人	876人 34人
街なか元気アップ教室	65歳以上の高齢者 (要介護認定者を除く)	運動機能向上のための運動指導と買い物活動を通じた生活機能訓練を複合的に組み合わせた送迎つきの教室を実施する。	・開催回数 街なか元気アップ教室 14回	14人	128人

(2)栄養改善プログラム

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数		

(3)口腔機能の向上プログラム

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数		

(4)その他のプログラム

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
音楽サロン	65歳以上の高齢者	参加者の時代背景に沿った歌唱を通じて、回想法を取り入れながら昔の記憶を刺激することで脳の活性化を図り、打楽器の合唱やミュージックフープを用いた体操を行うことにより、社会性の広がりを得る。	・開催回数 音楽サロン教室(3会場) 30回 体験会 2回	79人 27人	518人 27人
脳若教室	65歳以上の高齢者 (介護保険の要支援・要介護認定を受けた人は除く)	認知症予防を目的に開発したiPadを用いたトレーニングプログラムを導入することで、認知機能の改善を図る。	・開催回数 脳若教室(2教室) 24回	22人	229人
脳いきいき健康塾	65歳以上の高齢者(要介護認定者を除く)	簡単な計算や音読を習慣化することと交流を図ることにより、加齢に伴う脳機能の衰えを防ぎ、日常行動の回復を目指す。	・開催回数 自主グループ支援 13団体	98人	

(5)プログラムに参加する医師の判断

事業名	対象者	実施内容	単価	件数	参加者数(実)	参加者数(延)
			1,100円	1件		

④ 介護予防に関する知識又は情報、各対象者の介護予防事業の実施の記録等を管理するための媒体(介護予防手帳等)の配布

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)

(2)一般介護予防事業(令和2年度)

(ウ)地域介護予防活動支援事業

①介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数		

②介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
介護予防支援者養成事業	にこにこ運動教室・(地域版)元気アップ教室自主グループのお世話人	にこにこ運動教室、(地域版)元気アップ教室の支援者の養成・育成および支援者同士の交流機会を提供し、支援者が活動を継続できるよう技術的・精神的フォローを行う。	・開催回数 介護予防支援者養成事業 6回	121人	121人
介護予防に資する通いの場支援事業	にこにこ運動教室、(地域版)元気アップ教室、転ばん教室終了後、自主化したグループ	にこにこ運動教室、(地域版)元気アップ教室、転ばん教室、地域版元気アップ教室(平成29年度以降実施の教室)終了後、自主化したグループをフォローするため、指導を行う。	・開催回数 介護予防に資する通いの場への支援 184回		2,826人

令和2年度・地域支援事業実施状況(佐賀市)

③社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
趣味の作品展	60歳以上の高齢者	高齢者の趣味による作品を募集し、展示することによって、高齢者の創作意欲の向上と文化活動への参加を促し、高齢者の生きがいづくりと認知症予防など健康の増進を図る。	・開催件数	1回		348人
			出展数203点			
高齢者スポーツ大会	60歳以上の高齢者	スポーツ大会を通じて、高齢者の健康増進及び社会活動への参加意欲の向上を図る。	・開催件数	1回		4,199人
			会場数28会場			
老人センター各種講座事業	申し込みをされた市内在住の60歳以上の方	一般教養、郷土史、健康づくり、園芸等の講座	・開催回数			
			会場数4会場	102回	239人	4,173人
高齢者ふれあいサロン事業	おおむね65歳以上の一人暮らしや虚弱な高齢者等(対象者)と地域のボランティア等の協力者で構成され、活動しているサロン	地域のボランティア団体等が、家に閉じこもりがちな独り暮らしや、虚弱な高齢者等に対し、地域の公民館や集会所等において各種サービスを提供する	・開催回数			
			サロン数	#####		50,214人
			延べ回数	3,375回		

令和2年度・地域支援事業実施状況(佐賀市)

3 包括的支援事業(社会保障充実分)

(1)在宅医療・介護連携推進事業(令和2年度)

(ア)地域の医療・介護の資源の把握

実施内容

- ・市内の介護保険施設や高齢者福祉施設、医療機関などの情報を市のホームページに掲載し、高齢者及びその家族が施設情報を得ることができるようにする。データは随時更新。
- ・医師会を通じて在宅医療の実施状況について医療機関にアンケートを実施。

(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

実施内容

会議開催件数

- ・「佐賀市在宅医療・介護連携推進連絡会議」の1回目は書面報告、2回目のみ実施(R2.11.13)し、関係団体における在宅医療・介護に関する課題、取組内容等を共有した。
- ・市内の医療機関の地域連携室や入退院支援の担当者、歯科医師会、薬剤師会、佐賀中部広域介護支援専門員協議会、看護協会など個別に訪問し、佐賀市の在宅医療・介護連携推進事業について説明と課題抽出を行った。

1

(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

実施内容

- ・令和2年度からの事業の方向性及び「佐賀市在宅医療・介護連携グループ窓口施設の役割等に関する通知文書と登録施設一覧の送付をグループ登録施設430か所に行った。

(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

実施内容

- ・カナミック情報共有システム利用登録を推進し、関係者間の情報共有を図った。(参加者ID数274件)
- ・北部ネットワーク窓口施設での携帯アプリ(Dr.JOY)の導入・運用
- ・東部ネットワーク窓口施設での連携担当者名簿(冊子)の作成

(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

実施内容

相談窓口数

相談員数

- ・在宅医療・介護連携支援センターで相談支援を行った。:件数24件

1

1

(カ)医療・介護関係者の研修

実施内容

多職種研修

その他研修

- ・南部ネットワーク窓口施設で研修会を実施:3回(多職種)
- ・地域包括支援センター管理者会議、看護協会主催の入退院支援研修会、中部広域介護支援専門員協議会理事会で佐賀市の在宅医療・介護連携推進事業と佐賀市の在宅医療介護の現状について説明を行った。(その他:3回)
- ・居宅介護支援事業所の所内研修会で医療介護連携において必要なことや入退院支援でケアマネジャーができることなど2回シリーズで研修を行った。(その他:2回)
- ・薬剤師会で佐賀市在宅医療・介護連携推進事業の説明と佐賀市の現状、介護保険について研修を行った。(その他:1回)

3回

6

(キ)地域住民への普及啓発

実施内容

- ・広報パンフレットの作成、配布を行った。
- ・「在宅医療・介護連携支援センター」ホームページの開設準備を行った。

(2)生活支援体制整備事業(令和2年度)

(ア)生活支援コーディネーターの配置

実施内容

- ・第1層、第2層コーディネーターを配置
- ・SC連絡会を実施

(イ)協議体の設置

実施内容

- ・第1層協議会を1回実施(書面開催)

(ウ)その他(生活・介護サポーター養成事業)

実施内容

- 一般市民を対象に、生活・介護支援サポーター養成講座を実施し、ボランティアを養成する。

令和2年度・地域支援事業実施状況(佐賀市)

(3)認知症総合支援事業(令和2年度)		
①認知症初期集中支援推進事業		
実施内容		
認知症初期集中支援チーム配置 ・認知症初期集中支援員1名(社会福祉士)を配置し、専門知識を有するチーム(専門医・作業療法士・管理栄養士)により初期支援を集中的に行う。		
②認知症地域支援・ケア向上事業		
実施内容		
認知症地域支援推進員配置 ・認知症地域支援推進員を1名配置する		
(4)地域ケア会議推進事業(令和2年度)		
実施内容		地域ケア推進会議の開催数
地域ケア推進会議の開催 ・委員からの助言		・地域課題の整理 1回

令和2年度・地域支援事業実施状況(佐賀市)

(2) 任意事業(令和2年度)

② 家族介護支援事業

ア 介護教室の開催

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
家族介護教室	高齢者を介護している家族や援助者	高齢者を介護している家族に対し、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等について必要な知識・技術を習得できるよう、家族介護教室を開催することにより、家族介護の支援を図る。	・開催回数 2回		26人

イ 認知症高齢者見守り事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)

ウ 家族介護継続支援事業

(イ) 介護者交流会の開催

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)

※介護用品の支給に係る事業

事業名	対象者	実施内容	実人数	延べ人数
家族介護用品支給事業	おおむね65歳以上で要介護4または5の認定を持つ方を介護する家族の方。ただし、市県民税非課税世帯に限る。 ※入院・施設入所・生活保護受給中の方は利用できません。	紙おむつ、尿取りパット等を1日212円(1ヶ月を30日単位とする)を上限として支給する。(3か月に1回、業者から配送)	32人	88人
(i) 高齢者の個別の状態を踏まえた自立支援の観点に立った適切な用品の支給方針		(ii) 任意事業における各事業の課題の把握、および対応方針の検討	(iii) 介護用品支給の廃止・縮小に向けた具	
		介護用品支給以外の任意事業	介護用品の支給	

(2) 任意事業(令和2年度)

③ その他の事業

ア 成年後見制度利用支援事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	
佐賀市成年後見制度における市長による審判請求手続等に関する事務	本人、親族の申立てが困難なもの	老人福祉法第32条に基づく成年後見制度の市長申立てを行う。	・申立件数 18件	
佐賀市成年後見制度における成年後見人等の報酬助成事業	生活保護受給若しくは助成を受けなければ生活保護受給の対象となるもの	成年後見制度を利用する被後見人等が後見人等に対し報酬を負担できない場合にその全部又は一部を助成する。	・助成件数 36件	

エ 認知症サポーター等養成講座

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	延べ人数
認知症サポーター養成講座	市民・企業・学校・市職員	地域の生活関連企業・各種団体への出前講座	・開催回数 78回	2,158人

オ 重度ALS入院時コミュニケーション支援事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	利用者数(実)	利用者数(延)
入院時コミュニケーション支援事業	要介護認定を受けており、入院中の看護に特別なコミュニケーション技術が必要な重度のALS患者	重度ALS患者が、入院時において医療従事者との意思疎通が円滑に行えるよう、コミュニケーション支援員を、年度内220時間を上限として派遣する。	・利用件数 0回	0回	0回

カ 地域自立生活支援事業

③ 地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	利用者数(実)	利用者数(延)
安否確認事業	おおむね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯又はこれに準ずる世帯に属する高齢者等であって、安否確認が必要な者	安否確認が必要な高齢者等に対して、定期的に居宅に訪問し、当該利用者の安否を確認し、異常があった場合は関係機関等への連絡等を行う。	・安否確認数 2,294回	41人	230人

④ 家庭内の事故等への対応の体制整備に資する事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	利用者数(実)	利用者数(延)

令和2年度 主要事業の実施状況の概要 【 多久市 】

1 新規事業について

・介護予防事業施策としては、

- ① 短期集中サービスC事業 短期集中の訪問・通所サービスとして、運動機能向上を目的とした「パワーリハプラス教室」を始めました。教室型にしましたので、前期・後期で、1教室5名定員として開催しました。

- ② 一般介護予防教室「歌おうドレミクラブ」の開始

口腔機能向上や認知機能低下予防を目的として、定員制で、12回の2コースとして開催しています。参加者には健診の受診を紐付けています。

・認知症総合支援事業における施策としては

- ① 高齢者見守り支援シール交付事業 認知症施策の一つとして、高齢者の行方不明等への早期対応・早期発見により安全・安心を確保することを目的として始めました。

2 継続事業（主な事業）について

・介護予防事業施策としては

- ① 介護予防サポーターを養成後、活動推進の支援のため、介護予防サポーター支援事業を、サポーターの支援を実施しています。
- ② 地域の「いきいき百歳体操」教室は、地域における通いの場活動として拡大し、実施地区が増えている。初回導入の支援と評価を実施しています。
また、参加者の継続支援として、85歳以上の実践者の表彰を実施するとともに、地域の自主的運営による介護予防講演会を実施しました。
- ③ 生活習慣病の重症化予防のために保健師による保健指導を継続しています
健康状態不明者については、地域の民生委員による訪問にて実態の把握を行いました。

・認知症総合支援事業施策としては

- ① 認知症ケアパスの改定により第2版の作成

・在宅医療介護連携推進協議会の活動としては

- ① 医療・介護に関する市内の関係機関等も含めた連携のための情報冊子を3年ごとに改定し作成して関係機関に配布します。

3 課題について

社会保障費の削減に向けて、保健・医療・介護の分野においては、高齢者への支援が重複していることと、「地域共生社会の実現」「重層的支援」「虐待」「権利擁護」など、関係する機関も多種多様となり包括支援センターの機能も複雑多岐にわたるため業務の煩雑化が見られます。

令和2年度・地域支援事業実施状況(多久市)

1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和2年度)

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

(ア) 訪問型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
パワーリハビリ教室	事業対象者 要支援1・2認定者	理学療法士等が居宅を訪問し、住環境等の調整を含めた生活機能評価を行い、介護予防ケアマネジメントに反映する。アセスメント訪問と評価訪問等の2回となる。	19人	47人

(イ) 通所型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
パワーリハビリ教室	事業対象者 要支援1・2認定者	運動、栄養、口腔等の心身機能の維持・向上を目指して、週1～2回 最大24回(3か月)と終了後OG/OB会週1回の1月、計5か月程度、1回120分の通所プログラム(教室)。個別評価による運動トレーニングの実施と自宅での運動継続のための支援の実施	19人	492回

(2) 一般介護予防事業(令和2年度)

(ア) 介護予防把握事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
重症化予防事業	介護保険未利用者 健診結果重症化予防対象者	窓口相談、在宅介護支援センターからの紹介、後期高齢者健診、通いの場、介護保険未利用者等で把握している方に訪問を行い、早期に実態を把握し、保健指導を実施する。必要な場合、医療受診や介護予防教室・介護保険等へつなげる。	・訪問による把握 57日	86人	194人

(イ) 介護予防普及啓発事業

① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布

事業名	対象者	実施内容	開催回数	参加者数(実)	参加者数(延)
生活情報誌・市報への記事掲載 (介護予防・介護保険関係)	市民全般	地域包括支援センターだより(市報の中の2頁)	市報 12回	12回	12回
介護予防チラシ作成	65歳以上高齢者	介護予防ちらしの作成、フレイル予防の実践周知	チラシ作成 1回		3000部

② 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するための有識者等による講演会や相談会等の開催

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
CATVを使った介護予防(運動)の実践啓発	市民全般	コロナウイルス感染症拡大防止により、地域活動が自粛・中止となったことや講演会等の実施が困難であったため、CATV・YouTubeを活用した運動の動画を作成、放映した。	・開催回数(DVD放映) ケーブルテレビにて実施 2か月		
介護予防・重症化予防相談	75歳以上の高齢者	(健康教育)生活習慣病重症化予防対象者への個別健康教育の実施 (健康相談)フレイル予防のための低栄養や糖尿病重症化予防等の健康相談の実施	・相談回数(相談) 24回	32人	43人

③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等の開催

(1) 運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
介護予防教室(げんきアップさー来る(2回/週))	高齢者	・インストラクターの指導のもと、ストレッチやタオルやボールなどをつかった運動の実施、年1回の体力評価の実施。	・開催回数 70回	63人	1,978人
地域版 いきいき百歳体操教室	地域住民(40歳以上)	歩いて通える地域の会場(場)に集い、いきいき100歳体操(30分程度のストレッチや筋力向上のための運動)等の実施。年1回の評価実施。	・開催回数 30地区	408人	13,137人
転倒予防・筋力低下予防教室(お達者クラブ)	65歳以上、チェックリスト該当者	健康運動指導士等の指導による椅子に座ってできる転倒予防・筋力アップ運動教室、週1回、1回90分	・開催回数 評価測定 51回 12回	37人 37人	1,195人 85人

(2) 栄養改善プログラム

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数		

令和2年度・地域支援事業実施状況(多久市)

(3)口腔機能の向上プログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
かみかみ百歳体操教室	地域の介護予防教室参加者(65歳以上)	・地域におけるDVDを使った口腔体操の実施。 ・歯科衛生士による口腔機能向上のための健康教育や口腔チェックを合わせて実施	・開催回数	10回	60人	103人
			評価実施者	1回	12人	12人
歌おうドレミ教室	65歳以上高齢者	・介護予防音楽療法指導士等による音楽をベースにした合唱・合奏・口腔体操等の教室 ・教室前後で口腔機能テストの実施 ・1教室12回コース、年2教室実施	・開催回数	24回	37人	324人
			1教室 12回			
(4)その他のプログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
わっか脳教室	65歳以上高齢者	・ゲーム機を使って脳トレーニングや体を使っての脳トレ体操をする。また、計算問題や漢字問題等の宿題を持ち帰り、自宅でも脳トレーニングを行っていく。	・開催回数	79回	5人	189人
思い出クラブ	65歳以上高齢者	・認知症や閉じこもりを予防するような作業療法を取り入れ、自宅での生活機能の維持のための活動を行う。 ・年1回の認知機能テストの実施、家庭における取組	・開催回数	92回	30人	1,077人
高齢者パソコン教室	65歳以上高齢者	・認知症予防や閉じこもり予防、生きがい活動など介護予防に資する活動として、年4回で1コース(5回)の教室を開催。	・開催回数	4回	23人	187人
			1教室5日間 4教室			
(5)プログラムに参加する医師の判断						
			単価	件数		
			1,100円	23件		
④ 介護予防に関する知識又は情報、各対象者の介護予防事業の実施の記録等を管理するための媒体(介護予防手帳等)の配布						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
(ウ)地域介護予防活動支援事業						
①介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
介護サポーター養成講座	65歳以上の高齢者	地域の通いの場等で地区の代表者への支援を行う協力スタッフの養成および立ち上げ支援の実施(養成講座1教室 8回コースで実施)	・養成講座開催回数	1回	9人	66人
			・サポーター連絡会	10回	12人	90人
②介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
地域住民グループ支援	65歳以上の独居高齢者や高齢者世帯	日常生活の声かけ、安否確認を通して地域ボランティアネットワークの構築と人材育成を図り、地域に福祉力を向上させる。	・開催回数			
			該当者数	640人	随時活動	49847回
			連絡員	417人		
ふれあい・いきいきサロン事業	65歳以上の市民全般	・市民が主体的な活動の場の立ち上げ支援、介護予防活動の指導・助言を行う。 ・市内46地区、ただしコロナウイルス感染拡大により1地区休止中	・代表者会議開催回数	4回	42人	64人
			随時活動	22回		
高齢者趣味の作品展	65歳以上の市民全般	活動による作品を発表・展示することで社会参加を促進し、生きがいづくりや介護予防につながる生涯学習への意識を高揚することを目的として実施。	・開催回数	1回		
			出品作品数	42点	25人	25人
高齢者スポーツ大会	65歳以上の市民全般	スポーツを通じて、継続的な運動と健康維持につなげ、介護予防の意識づけの機会とする。(ゲートボール大会・グランドゴルフ大会)	・開催回数			
			ゲートボール大会	1回	33人	33人
			グランドゴルフ大会	1回	98人	98人
③社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
いきいきプロジェクト事業	65歳以上市民	・生きがいづくり活動の定期的な実施により、社会参加を通じた介護予防に資する活動の実践。(月1回の活動実施) ・いきいき塾による啓発はコロナウイルス感染拡大を受けて中止し、介護予防のための啓発チラシの配布など実施した。	・開催回数	11回	4人	36人
			R1参加者への通知	2回	500人	500人
(オ) 地域リハビリテーション活動支援事業						
①地域リハビリテーション活動支援事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
地域リハビリテーション活動支援事業	65歳以上高齢者	退院後の相談事例や地域ケア会議の事例等、在宅生活における転倒予防・自立支援のための専門職による訪問調査および指導	・開催回数	2回	2人	2人

令和2年度・地域支援事業実施状況(多久市)

3 包括的支援事業(社会保障充実分)

(1)在宅医療・介護連携推進事業(令和2年度)

(ア)地域の医療・介護の資源の把握

実施内容

よかとこ連携マップを改変し、内容を見直し作成した。策定部会により4回協議した。
市内の関係機関が必要な情報の掲載に努め、市民からの相談にも利用できるように内容を見直した。

(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

実施内容

会議開催件数

コロナウイルス感染症拡大防止の視点で、市民公開講座などの取り組みはできなかったが、「在宅医療・介護に関するアンケート」を行い、看取りや終活についての意識調査を実施した。その結果から、次年度の活動の方向性を協議した。
また、月次で行っている市内医療機関・介護関係者が参加する連携会議の委員に、民生委員1名に参加していただき、活動についての共有を図った。

14 件

(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

実施内容

多久市在宅医療介護連携推進協議会の会議を月1回開催し、窓口病院と協力病院等の担当者で連携にかかる事業等の企画・検討を行った。

(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

実施内容

「退院支援ルール」の運用を開始したが、活用の評価を行うことなど令和3年度の取り組みに加えた。

(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

実施内容

相談窓口数

相談員数

地域の医療・介護関係者からの「在宅医療、介護サービスに関する」相談に対応した。
必要に応じて、退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整や、医療・介護関係者に対して、利用者・患者または家族の要望を踏まえた、地域の医療機関・介護事業者の紹介を行った。
相談件数 67件

2 箇所

2 人

(カ)医療・介護関係者の研修

実施内容

多職種研修

その他研修数

知識等の習得に加え、顔の見える関係を構築し、互いの専門性についての相互理解を深めるために、全体会議を開催した。多職種連携研修会を企画したが、コロナウイルス感染拡大により中止をせざるを得なかった。
それぞれの部会の研修開催も今年度は企画したが実施ができなかった。

2 回

1 回

(キ)地域住民への普及啓発

実施内容

CATVによる「見取り・終活」についての劇の放映と「在宅医療・介護に関するアンケート」結果をまとめた動画を作成し、3月末に放映した。

(2)生活支援体制整備事業(令和2年度)

(ア)生活支援コーディネーターの配置

実施内容

平成28年4月、生活支援コーディネーター(以下、コーディネーター)配置。
地域の介護予防教室に出向き、代表者からの相談等を受け活動した。
また、地域での取り組みを紹介するコーディネート業務を行った。

令和2年度・地域支援事業実施状況(多久市)

(イ)協議体の設置		
実施内容		
コロナウイルス感染症拡大により協議体会議は1回となった。9月ごろより市内5町での委員による話し合いを行い、事業内容や課題などの話し合いを実施した。協議体委員による介護予防実施地区の意見交換会や交流会を2町で実施した。 令和3年度に向けて、協議体委員に老人クラブや地区サロンの代表者を加え、町ごとの協議体活動を展開する方向とした。		
(ウ)その他()		
実施内容		
(3)認知症総合支援事業(令和2年度)		
①認知症初期集中支援推進事業		
実施内容		
市内事業所と業務委託契約締結。初回の同行訪問、チーム員会議を実施した。 初期集中支援ネットワーク会議を行い、医療機関受診者で定期受診や内服管理が困難と思われる事例についての情報提供について協議した。 ・相談件数 60件 ・訪問実人数 13人 ・訪問延べ人数 24人 ・訪問活動日数24日		
②認知症地域支援・ケア向上事業		
実施内容		
1)認知症地域支援推進員を配置。 市役所窓口や地域版介護予防教室での相談業務を継続した。 認知症ケアパスの内容を改変し、認知症予防と認知症の自己チェックができるようにした。市民が利用できるカフェ情報の配置を変えて利用の推進を図るように工夫した。 認知症予防のための健康教育を中心に地域で実施し、食事や運動の継続、治療の継続についての教育を実践した。 2)カフェ事業は、コロナウイルス感染症拡大を受けて自粛・中止もあったが、7月から開催し、23名の利用となっている。		
(4)地域ケア会議推進事業		
実施内容		地域ケア推進会議の開催数
・推進運営委員会を開催し、地域ケア会議からの個別事例課題から地域課題としてとらえ、地域課題の解決について委員からの意見等により令和3年度の活動計画とした。地域ケア会議に参加したケアマネジャーにアンケートを実施し、会議の運営に役立てるように取り組む。 ・地域で活動する民生委員との連携についても、「ちくたくネット」「地域ケア会議」への参加を依頼し、事業についての理解と協力を得ることができた。 ・地域包括ケアシステムの構築等の充実のために地区3師会や外部講師による会議や研修を実施した。		1回

令和2年度・地域支援事業の実施状況(多久市)

(2)任意事業(令和2年度)						
② 家族介護支援事業						
ア 介護教室の開催						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
家族介護教室	市民一般	・要介護者の状態の維持や改善のために、適切な介護知識・技術を習得する。	・開催回数	3 回	31 人	52 人
イ 認知症高齢者見守り事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
認知症等の見守りシール・安心ネットワーク支援事業	認知症の疑いのある65歳以上の高齢者及び初老期認知症と診断された者	本人の安全確保と家族への支援として「見守りシール」を配布する。	申請者数	10 回	10 人	10 人
ウ 家族介護継続支援事業						
(イ)介護者交流会の開催						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
			教室回数			
※介護用品の支給に係る事業						
事業名	対象者	実施内容			実人数	延べ人数
介護における負担軽減(紙おむつ等支給)事業	要介護4・5または、65歳以上在宅で所得税非課税世帯に属し、常時失禁状態にあるの寝たきりの方	該当者に月5000円分の紙おむつ等の購入費を助成した			11 人	125 人
(i)高齢者の個別の状態を踏まえた自立支援の観点に立った適切な用品の支給方針		(ii)任意事業における各事業の課題の把握、および対応方針の検討			(iii)介護用品支給の廃止・縮小に向けた	
		介護用品支給以外の任意事業			介護用品の支給	
該当なし		見守り支援シール交付事業の実施	紙おむつ、尿とりパット、おしりふきなど		R6年度から佐賀中部広域連合の方針に沿って実施	

(2)任意事業(令和2年度)						
③ その他の事業						
ア 成年後見制度利用支援事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			
成年後見制度利用支援事業	市長中立で行う高齢者及び家庭裁判所より成年後見人等が選任された高齢者のうち、生活保護受給者及びこれに準ずる者、申立て費用等の負担が困難であると市長が認める者	身寄りのない認知症高齢者などについて市町が後見制度制度の申立などを行う。 成年後見制度の利用にあたり、成年後見人等への報酬を負担することが困難な者に対し、報酬の助成を行う。	・申立件数	0 件		
			・助成件数	1 件		
エ 認知症サポーター等養成講座						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			延べ人数
認知症サポーター養成講座	講座を希望する地域・団体や市内義務教育学校生、多久高校生等	キャラバンメイトによるサポーター養成マニュアルに準じた講座内容の実施	・開催回数	11 回		630 人
オ 重度ALS入院時コミュニケーション支援事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)
カ 地域自立生活支援事業						
③地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)
配食・見守りサービス事業	65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯であり、心身等の障害により、調理困難、安否確認が必要なる者	心身の障害等により、安否確認を要す、また調理が困難であったりする者に対して弁当を手渡し配布し、見守り(安否確認)と食確保による栄養改善を支援する。	・配食数	#####	70 人	725 人
④家庭内の事故等への対応の体制整備に資する事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)

令和2年度 主要事業の実施状況の概要 【 小城市 】

1 新規事業について

・生活支援体制整備事業…

平成28年度から実施している本事業において協議体等で検討を重ね、平成31年度に設置した社会福祉協議会内の支えあいセンターにおいて令和2年10月より住民ボランティアによる移動支援を開始した。

2 継続事業（主な事業）について

・在宅医療・介護連携推進事業…

多職種を対象とした会議や研修ではZoom等でのオンライン会議やYouTube等を使った映像配信での研修等に取り組み、中止しないような配慮を行った。

・認知症施策推進事業…

認知症カフェ・サロン、もの忘れ相談会の開催及び認知症ケアパスを作成し、認知症の人やその家族を支援する取り組みを行った。

・一般介護予防事業…

コロナ禍でも事業が継続できるよう委託事業所の感染予防の徹底や、家庭内の感染予防周知徹底を行った。また通いの場においても感染予防のチラシを県内の感染状況に応じて配布し、住民の意識啓発に努めた

3 課題について

・小城市が行う介護予防生活支援サービス事業（通所A、C、訪問B）についてコロナ禍の影響もあり事業拡大や利用者の増加につながっていない。

・今後の各事業について、コロナ禍で方法を変え、業務を遂行する必要がある。安易に中止や休止をするのではなく、各事業の目的を達成するための方法を検討する必要がある。

令和2年度・地域支援事業実施状況(小城市)

1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和2年度)

(1)介護予防・生活支援サービス事業

(ア)訪問型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
訪問型サービスB	要支援者・事業対象者	ごみ出しや買物、外出支援等利用者の生活上の多様な困りごとに対する住民主体の支援を担う団体に対して、コーディネート業務にかかる費用の補助を行う。	27人	234回

(イ)通所型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
通所型サービスA	要支援者・事業対象者	必要な日常生活上の支援やレクリエーション等を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、利用者の生活機能の維持又は向上させる。	5人	284回
通所型サービスC	要支援者・事業対象者	運動器の機能向上プログラム等を実施するとともに、栄養改善プログラム、口腔機能の改善・向上をさせるための支援を行う。	8人	179回

(ア)介護予防把握事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・訪問による把握 ・電話による把握 ・その他()		

(2)一般介護予防事業(令和2年度)

(イ)介護予防普及啓発事業

① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布

事業名	対象者	実施内容	開催回数	参加者数(実)	参加者数(延)
広報誌発行(市報おぎへの記事掲載)	市民	広報さくらに「包括支援センターだより」として毎月介護保険の内容や介護予防についての記事を掲載している。	・発行回数 12 ・発行部数 195,415		

② 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するための有識者等による講演会や相談会等の開催

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数(講演) ・開催回数(相談)		

③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等の開催

(1)運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
元気アップ教室(フォローアップ教室含む)	65歳以上で基本チェックリスト該当者	生きがいサービスの事業を活用し、対象者に対して、有酸素運動、ストレッチ、重り等器具を用いた運動等(いきいき百歳体操)を実施し、運動器の機能を向上させる。週1回、半年間で24回実施する。また、元気アップ教室終了者に対し、引き続きフォローアップ教室として週1回、半年間の24回実施する計画であったが、R2年度も新型コロナウイルス感染予防のため実施できない期間が生じた。	・開催回数 374回 会場数 2回 教室数 2回	84人	406人

(2)栄養改善プログラム

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数		

(3)口腔機能の向上プログラム

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
口腔訪問指導	市の福祉サービス利用者や総合相談においてチェックリストで必要と判断された人	歯科衛生士と看護師にて家庭訪問し、個別に口腔指導を実施する。	・訪問回数 90回	24人	90人

(4)その他のプログラム

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
うつ・閉じこもり訪問	市の福祉サービス利用者や総合相談においてチェックリストで必要と判断された人	うつや認知症疑いの人に対し、看護師が訪問する。	・開催回数 17回	17人	17人
オレンジ大学(フォローアップ)	65歳以上の高齢者	認知症予防における運動指導プログラムの実施	・開催回数 16回	44人	368人

令和2年度・地域支援事業実施状況(小城市)

生活リハビリフォローアップ	65歳以上の高齢者で自ら移動手段が無く独居または高齢者世帯	介護予防教室やサロン等に参加している高齢者を対象に、社会参加・買い物支援を中心とした介護予防事業	・開催回数	9回	34人	67人
短期集中型元気アップ教室	運動機能器関連プログラムの参加を希望する65歳以上の高齢者	運動器の機能向上プログラムによる生活機能訓練及び栄養指導や口腔機能の改善支援を行う	・開催回数	16回	1人	16人
(5)プログラムに参加する医師の判断						
医師による診断業務		元気アップ教室及びフォローアップ教室参加者に対し、介護予防事業利用の適宜に係る主治医の診断を行なう	単価	1,100円	件数	17件
(4) 介護予防に関する知識又は情報、各対象者の介護予防事業の実施の記録等を管理するための媒体(介護予防手帳等)の配布						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
(ウ)地域介護予防活動支援事業						
①介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数			
②介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
いきいき百歳体操	65歳以上の高齢者	重りを使つての体操で筋トレを目的に実施し、自治会単位の住民主体の通いの場として継続させる。また、全体交流会を開催した	・開催回数	1,128回	255人	10,371人
			・実施箇所数	28箇所		
			・全体交流会	2箇所	166人	166人
高齢者ふれあいサロン事業	各地区の高齢者	保健福祉センターや地区公民館において、閉じこもりがちな高齢者を対象にゲームや健康体操等を行う。	・開催回数	921回		7,185人
高齢者スポーツ大会	小城市老人クラブ参加者	体力づくりのためのスポーツ大会を開催する。	・開催回数	10回		428人
			・会場数	4箇所		
高齢者生きがいづくり講座	65歳の高齢者で生きがいづくりに興味のある者	趣味や教養、情報・知識などを提供し、生きがいづくりを支援する講座を開催する。	・開催回数	70回	63人	624人
			・会場数	4箇所		
老人クラブ健康づくり講座	小城市老人クラブ参加者	認知症予防や健康づくりに関する講演や研修会及び高齢者自身による学習活動を実施する。	・開催回数	35回		715人
			・会場数	4箇所		
			・開催回数			
③社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数			
(2)一般介護予防事業(令和2年度)						
(オ)地域リハビリテーション活動支援事業						
①地域リハビリテーション活動支援事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
介護予防地区指導・評価会議	65歳以上の高齢者	介護予防運動等を実施している地区にPTが外向き、指導を行う。また体力測定の結果等を用いて評価会議を年2回実施する。 ※本年度はコロナ禍の影響でPTが地区へ外向くことができなかったため、個人の体力測定結果をPTが評価し、個人へ評価の入った記録表を配布した。	・開催回数			
			評価会議9/16・3/17	2回	8人	15人
			体力測定個人評価	1回		243人

令和2年度・地域支援事業実施状況(小城市)

3 包括的支援事業(社会保障充実分)(令和2年度)

(1)在宅医療・介護連携推進事業

(ア)地域の医療・介護の資源の把握

実施内容

令和2年8月 啓発広報部会(書面会議)・令和2年11月24日 啓発広報部会を開催
 ・小城市医療・福祉マップ更新版の内容の検討、在宅医療・介護連携推進協議会のクリアファイルの作成について
 令和3年3月に下記に配布
 ・配布先:小城市内病院・クリニック、歯科、薬局、介護サービス事業所等

(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

実施内容

会議開催件数

「小城市在宅医療・介護連携推進協議会」を書面会議での開催。
 第1回 令和2年9月
 ①コロナ禍での在宅医療・介護連携についての研修会の実施について
 ②医療福祉マップ、クリアファイルの作成について
 第2回 令和3年3月
 ①情報共有システム部会(退院支援ルール分科会)の取り組みについて
 ②啓発広報部会の取り組みについて
 ③研修部会の取り組みについて
 ④今後の協議会の開催内容について

2 件

(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

実施内容

*「小城市在宅医療・介護連携推進協議会」および「専門部会」を設置。
 協議会委員(17名):医師4名(医師会3名、保健所1名)、歯科医師1名、薬剤師1名、ケアマネージャー5名、医療ソーシャルワーカー1名、訪問看護師1名、理学療法士1名、包括支援センター3名
 【専門部会】
 啓発・広報部会(13名)、研修部会(23名)、情報共有システム部会(12名)⇒(退院支援ルール分科会13名)

(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

実施内容

退院支援ルール分科会による情報共有
 分科会2回 6月18日:15人 2月15日:14人(WEB会議) 退院支援ルールの検討、来年度に向けての取り組みについて
 ケアマネとの意見交換2回 7月15日:14人 10月13日:16人 医療介護の連携の際の利点や改善点について

(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

実施内容

相談窓口数

相談員数

市内の医療機関3か所に相談窓口を設置し、地域の医療・介護関係者や地域包括支援センターからの相談等を受け付け、連携調整、情報提供等の支援を行ってもらう。
 相談窓口
 江口病院(相談件数:26件)
 ひらまつクリニック(相談件数:44件)
 小城市民病院(相談件数:12件)

3 箇所

3 人

(カ)医療・介護関係者の研修

実施内容

多職種研修

その他研修

YouTubeでの動画配信にて実施
 テーマ「聞いてみよう！新型コロナウイルス感染症について」、講師:感染管理認定看護師
 配信期間11月30日～12月14日、1月12～25日
 視聴人数:72人

2 回

(キ)地域住民への普及啓発

実施内容

啓発・広報部会にて在宅医療・介護連携推進協議会のクリアファイルの作成し、下記に配布。在宅医療・介護連携のパンフレット等を持ち帰る際に活用している。
 配布先:小城市内病院・クリニック、歯科、薬局、介護サービス事業所等

令和2年度・地域支援事業実施状況(小城市)

(2)生活支援体制整備事業(令和2年度)

(ア)生活支援コーディネーターの配置

実施内容

- * 第1層、第2層生活支援コーディネーターを配置(兼務) 1人
- * 生活支援コーディネーター事務を配置 1人
- * 小城市社会福祉協議会が小城市支えあいセンターを設置
- * ボランティアを中心とした生活支援「買い物支援」「ゴミ出し支援」を実施。付き添い支援が試行された。
- * 地域住民の意見集約、協議体会議の資料作成。

支えあいセンター利用登録者数 71名

ボランティア登録者数 52名

(イ)協議体の設置

実施内容

【第1層協議体】

- * 第1回 (10/20) 18人(委員17人、アドバイザー/リモート参加)
- * 第2回 (12/18) 19人(委員18人、アドバイザー/リモート参加)
- * 第2回 (3/16) 16人(委員15人、アドバイザー/リモート参加)

【第2層協議体】

- * 小城市 第1回(7/21:17人) 第2回(9/15:24人) 第3回(11/19:16人)
- * 三日月町 第1回(7/9:8人) 第2回(9/16:6人) 第3回(11/18:9人+2人) 第4回(3/12:3人)
- * 牛津町 第1回(7/17:11人) 第2回(9/18:4人) 第3回(11/17:11人) 第4回(書面会議)
- * 芦刈町 第1回(8/20:8人) 第2回(9/25:9人) 第3回(11/27:7人+民生委員3人) 第4回(3/12:8人)

- * 付き添い支援検討会 第1回(10/29:22人) 第2回(3/3:17人)

(ウ)その他()

実施内容

小城市市民講座

12/16 「支え、つなぎ、広げよう！地域づくりのわ！」「住民主体の取り組みを広げよう」～はじまりました！付き添い支援～ をテーマに開催した。69人参加

生活支援ボランティア養成講座

- 運転技術講習 10/8、1/19 9人 ●地域での生活支援について 10/13 19人 ●認知症の方の対応について 10/21 19人
- 発達障がいについて 11/11 38人

有償ボランティアによる生活支援リーフレット作成

(3)認知症総合支援事業(令和2年度)

①認知症初期集中支援推進事業

実施内容

【認知症初期集中支援チーム検討委員会】を書面会議での開催。

令和2年12月

①対応事例と実績について

②小城市認知症初期集中支援チームの現状と課題について

【認知症初期集中支援チーム】相談1件→実績0

【もの忘れ相談会】

年間12回開催予定のうち、実績2回、参加者2人

②認知症地域支援・ケア向上事業

実施内容

【認知症地域支援推進員の配置(会計年度任用職員)】

・認知症の人の支援(相談・訪問・連携)

・認知症サポーター養成講座

・認知症サポーター登録

【認知症カフェ・認知症サロンの実施】

・認知症サロン(若年性・認知症初期) 24回 参加数(延)159人

・認知症サロン(医療機関型)

孟子会…8回 参加数(延)154人

修和会…9回 参加数(延)94人

【認知症予防講演会】

令和2年10月5日 内容「認知症とその治療・予防について～最新情報について学ぼう～」参加者67人

【認知症ケアパスの作成】1,000部

(4)地域ケア会議推進事業(令和2年度)

実施内容

- ・自立支援型の地域ケア個別会議を市主催とし3包括で実施。(書面会議3回 会議3回)
- ・直営・北部合同で地域ケア代表者会議、また、南部包括主催の地域ケア代表者会議への参加も行っている。(北部地区代表者会議 6回、南部代表者会議0回※コロナ禍で開催せず)
- ・地域包括支援センター運営委員会時に地域課題の報告及び施策の提言等を議題とし、地域ケア推進会議としている。(7/30、2/4)

開催数

2 回

令和2年度・地域支援事業実施状況
(小城市)

(2) 任意事業(令和2年度)

② 家族介護支援事業

ア 介護教室の開催

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
認知症カフェ	認知症の人やその家族	専門職による介護のミニ講座や家族との座談会(相談会)、認知症予防として創作活動などを実施する。	・開催回数	11回	11人	62人

イ 認知症高齢者見守り事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)

ウ 家族介護継続支援事業

(イ) 介護者交流会の開催

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)

※介護用品の支給に係る事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		実人数	延べ人数
紙おむつクーポン券配布事業	要介護4・5かつ住民税非課税世帯で常時失禁状態(訪問調査を行う)の人(1人8,000円/月)	常時紙おむつを使用している在宅高齢者に対し、紙おむつクーポン券を支給する。 【対象者】10名 ※76,500円以上4人			10人	10人

(i) 高齢者の個別の状態を踏まえた自立支援の観点に立った適切な用品の支給方針		(ii) 任意事業における各事業の課題の把握、および対応方針の検討		(iii) 介護用品支給の廃止・縮小に向けた具		
在宅で常時失禁状態があり、介護保険要介護4・5の認定で住民税非課税世帯の者に対し紙おむつクーポン券を配付することにより、高齢者の在宅生活の継続を支援し、あわせて介護家族の経済的負担を軽減する。		介護用品支給以外の任意事業		介護用品の支給 高年齢者の増加に伴い、クーポン券対象者の数も増加すると思われる。在宅の高齢者が対象のため、施設入所した場合も配布を希望される声が多い。 現時点で具体的方策は立てていない。 (一般財源で運用している介護用品支給事業(要介護3や要介護		

③ その他の事業

ア 成年後見制度利用支援事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			
成年後見制度利用支援事業	市民	身寄りのない認知症高齢者などについて市町が後見制度制度の申立などを行う。 成年後見制度の利用にあたり、成年後見人等への報酬を負担することが困難な者に対し、報酬の助成を行う。	・申立件数	1件		
			・助成件数	8件		

エ 認知症サポーター等養成講座

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			延べ人数
認知症サポーター養成講座	市民	市内の地区組織、企業等で、「認知症サポーター養成講座」のテキストを使用し、講座を実施する。 担当地区の包括により講座を実施する。	・開催回数	1回		41人

オ 重度ALS入院時コミュニケーション支援事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)

カ 地域自立生活支援事業

③ 地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)
配食サービス	食事の確保が困難な65歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯		・配食数	12,790食	49人	560人

④ 家庭内の事故等への対応の体制整備に資する事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)

令和2年度 主要事業の実施状況の概要 【 神 埼 市 】

1 新規事業について

・ 認知症高齢者等見守りシール配布事業

認知症高齢者等事前登録制度の登録者のうち希望する方を対象に見守りシールを配布する。このシールにはQRコードが印字されており、携帯電話などで読み取ることにより事前に登録された高齢者の情報が表示されるため、行方不明時の早期発見と発見後の家族引き渡しを迅速に行うことができる。

・ 認知症高齢者等見守り訓練

行方不明となる認知症高齢者等の早期発見、未然防止へと繋げるために地域の見守り体制の強化を図ることを目的とし、行方不明事案の発生を想定して、道に迷っている高齢者への声かけ等の対応及び見守りシールを使った訓練を行う。

・ 認知症当事者発信支援事業

地域で暮らす認知症の人本人が自らの言葉で語り、認知症になっても希望を持って前を向いて暮らすことができている姿を積極的に発信していき、認知症の人本人とともに普及啓発を進めていけるように認知症疾患医療センターである肥前精神医療センター及び吉野ケ里町と協働で開催する。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い開催を中止した。

2 継続事業（主な事業）について

・（拡充）高齢者見守りネットワーク事業

これまで構築した事業所や民間機関のネットワークに加え、新たに犬の散歩をする市民による「わんわんパトロール隊」を結成し、飼い主は隊員として名簿に登録することにより地域での見守りの強化を図る。

・ シニア筋力向上トレーニング事業

市内にあるスポーツジムでマシンによる筋力トレーニングを行うことにより、体力の維持、増進や介護予防を図る。3か月間の事業が終了した後も個人的に継続して通う方が多い。

・ 地区介護予防教室（「いきいき百歳体操」普及事業）

地区の高齢者が公民館等を集まり、「いきいき百歳体操」を主体的に実施できるよう、集いの場の設置及び運営の手助けを行う。また、体力測定をはじめ栄養や口腔等の講座の開催など、定期的なフォローを行っている。令和2年度は、参加延べ人数が前年に比べ2倍程度になり、約10,000人となった。

3 課題について

日常生活支援総合事業が未実施であること、また、生活支援体制整備事業の第一層協議体が未整備であることが大きな課題となっている。

令和2年度・地域支援事業実施状況(神崎市)

1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和2年度)

(1)介護予防・生活支援サービス事業

(ア)訪問型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数

(イ)通所型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数

(2)一般介護予防事業(令和2年度)

(ア)介護予防把握事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
介護予防把握事業	第1号被保険者	各窓口や各種事業等で介護予防が必要な方を把握し、その方を一般介護予防に繋ぐ。	・訪問による把握 ・電話による把握 ・その他(介護予防教室による把握)	70人 17人 11人	89人 17人 11人

(イ)介護予防普及啓発事業

① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布

事業名	対象者	実施内容	発行月	発行部数(部)
地域支援だよりの発行	市内全世帯	市内全世帯に対し、年に2回(7月、1月)介護予防に関する情報や、各種教室の紹介を掲載した印刷物を発行。(11,650部/回)	R2.7月 R3.1月	11,650部 11,650部

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
介護予防地区相談	第1号被保険者	地区公民館等を利用し、介護予防事業の周知啓発に努め、介護予防相談や健康学習会を実施する。	・開催回数(講演) ・開催回数(相談)	8回 9回	133人 175人

③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等の開催

(1)運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
脳若教室	第1号被保険者	タブレット端末を用いた認知症予防トレーニングを行うことで、記憶力の向上だけでなく、日常生活の中で認知症予防の意識づけを図ることを目的とする。	・開催回数	24回	21人 235人
おたっしやいきいきクラブ	第1号被保険者	レクリエーションや運動、脳トレを通して、心身の機能が低下した高齢者等の介護予防を図り、社会参加できる場づくりをする。	・開催地区 ・開催回数	5地区 693	191人 5,978人
筋力アップ養成塾	第1号被保険者	健康運動指導士による筋力アップ体操の実施。	・開催地区 ・開催回数	3地区 66回	161人 1,784人
しゃんしゃん教室	第1号被保険者	65歳以上の高齢者の運動機能低下及び維持向上を図るため、3ヶ月間1クール(最長6ヶ月間、計12回)、理学療法士による介護予防の活動を実施。	・開催場所 ・開催回数	2ヶ所 74回	71人 689人
介護予防水中運動教室	第1号被保険者	運動機能の低下がみられる65歳以上の方を対象に、3か月間週に1回水中運動を中心に実施。	・開催回数	12回	10人 108人

(2)栄養改善プログラム

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数		

(3)口腔機能の向上プログラム

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数		

令和2年度・地域支援事業実施状況(神崎市)

(4)その他のプログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数			
(5)プログラムに参加する医師の判断						
医師の意見書確認	第1号被保険者	一般介護予防事業に参加するための意見書:1件	単価	件数		
				0		
④ 介護予防に関する知識又は情報、各対象者の介護予防事業の実施の記録等を管理するための媒体(介護予防手帳等)の配布						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
(ウ)地域介護予防活動支援事業						
①介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
介護予防サポーター養成講座事業	市内在住65歳以上の方	地域リーダー養成し、一般介護予防事業の場で介護予防の一役を担ってもらう事を目的とする。	・開催回数	12回	13人	58人
介護予防教室(地区)	市内在住65歳以上の方	地区の高齢者が公民館等集まり、重りを用いた体操を主体的に行う集いの場の設置の手助けを行う。また、定期的なフォロー時に栄養や口腔など介護予防の講話を受講し、介護予防の取組みを実施する。	・開催回数	1,067回	591人	9,864人
②介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
高齢者ふれあいサロン事業	市内在住65歳以上の方	希望する地区の高齢者を対象に、レクリエーションや運動を通して、介護予防を図るとともに仲間づくりや生きがいづくり及び閉じこもりがちな高齢者等が社会参加できる場づくりをする。	・開催回数	55回		694人
③社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
世代間交流事業	市内老人クラブ会員	老人クラブの会員が世代を超えた交流を図ることで介護予防を促進する。	・開催回数	3回		415人
ボランティアヘルパー事業	市内老人クラブ会員	老人クラブの会員(ボランティアヘルパー)が、地区の寝たきりの方、独居老人、高齢者夫婦、閉じこもり傾向者に対し、散歩の会、通院、介助、ゴミ出し、買物、庭の掃除等を行うボランティアの育成及び支援を行うことにより、介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援を行う。	・開催回数			
			研修会	3回	170人	170人
			訪問	1,433回		1,433人

令和2年度・地域支援事業実施状況(神崎市)

3 包括的支援事業(社会保障充実分)(令和2年度)

(1)在宅医療・介護連携推進事業

(ア)地域の医療・介護の資源の把握			
実施内容			
神崎市郡内の医療機関及び介護事業所の基本情報や機能等を把握し、神崎市及び吉野ヶ里町のホームページにアップしている。ホームページ上に掲載している情報は随時更新するとともに、新たな医療機関、介護事業所等の情報把握を行った。			
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討			
実施内容			会議開催件数
地域の医療機関・介護事業所等へアンケート調査を依頼し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出を行い、抽出した課題は、各グループ窓口へ課題の解決策とについて学習会を依頼し検討を行う。 ・在宅医療連携拠点委員会 7回実施 (4/22、6/24、7/22、8/26、9/23、11/25(WEB会議)、2/24(WEB会議)) ・神崎市郡医師会在宅医療・介護連携推進協議会 3回実施 (5/13(書面会議)、12/16(WEB会議)、3/3(WEB会議)) ・グループ相談窓口連絡会議 3回実施 (5/27(書面会議)、7/29、11/4(WEB会議)) ・グループ相談窓口担当者会議 1回実施 (6/17)			14 件
(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進			
実施内容			
切れ目のない在宅医療と介護が一体的に提供される体制として、退院支援ルールを令和2年4月から運用開始とする。			
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援			
実施内容			
情報共有の手順等を定めた情報共有ツール(カナミック)を整備し、地域の医療・介護関係者に対し周知啓発及び情報共有の支援を行った。			
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援			
実施内容		相談窓口数	相談員数
在宅医療・介護連携支援センターを神崎市郡医師会事務局に設置し、医療・介護従事者からの相談対応、情報提供等を行う。		5 箇所	5 人
(カ)医療・介護関係者の研修			
実施内容		多職種研修	その他研修数
神崎病院:コロナウイルス感染症感染拡大に伴い研修会は中止、グループ内の学習会を2回開催 橋本病院:コロナウイルス感染症感染拡大に伴い研修会は中止、グループ内の学習会を2回開催 こすもす苑:コロナウイルス感染症感染拡大に伴い研修会は中止 ひらまつふれあいクリニック:研修会を2回開催		2 回	4 回
(キ)地域住民への普及啓発			
実施内容			
市民公開講座はコロナウイルス感染症感染拡大に伴い開催を中止する。 市民公開講座の代替として、ACPの周知・啓発を図るためにACPIに関するリーフレットを医療機関等に設置する。			

(2)生活支援体制整備事業(令和2年度)

(ア)生活支援コーディネーターの配置			
実施内容			
高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、関係者のネットワークや既存の組織等を活用しながら、コーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援等サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進していく。			
(イ)協議体の設置			
実施内容			
地域のニーズ・既存の地域資源の把握を行い、地域に不足するサービスの創出、サービスの担い手の養成、高齢者などが担い手となって活動する場の確保を行うため、第1層協議体・第2層協議体を設置し、社会資源の把握・地域に不足するサービスの創出、担い手の養成等、高齢者の地域づくりに繋ぐことができるよう、先進地の視察、協議・検討を重ねていく。 第2層協議体の数:3ヶ所(神崎町・千代田町・脊振町) 第2層協議体(会議)開催回数:25回(神崎9回、千代田8回、脊振8回) 居場所つくり(コミュニティカフェ)の開催:7回(神崎4回、千代田2回、脊振1回) 第2層協議体実人数:75名(神崎24人、千代田30人、脊振21人) 視察: 嬉野市生活支援体制整備事業実施状況			
(ウ)その他()			
実施内容			

令和2年度・地域支援事業実施状況(神崎市)

(3) 認知症総合支援事業(令和2年度)	
①認知症初期集中支援推進事業	
実施内容	
認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関り、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を目的として、市直営で認知症初期集中支援チームを設置。	
認知症初期集中支援チーム検討委員会 1回/年 コロナウイルス感染拡大に伴い書面会議にて開催 チーム介入事例がなかったため、チーム員会議は未開催	
②認知症地域支援・ケア向上事業	
実施内容	
【認知症総合支援事業】(認知症予防講演会) 1回/年 (R2.12.6開催、講師:小国 士朗氏(株式会社小国士朗事務所 代表取締役))	
【認知症総合支援事業】(認知症予防普及啓発チラシ) 3回発行/年(8月、12月、3月) 11,650部	
【認知症総合支援事業】(推進員配置) 1人	
【認知症総合支援事業】(認知症カフェ運営支援事業) 2事業所	
【認知症総合支援事業】(ものわすれ相談室) 8回/年 相談者15名	
【認知症総合支援事業】(認知症当事者発信支援事業) コロナウイルス感染症感染拡大に伴い開催中止	
(4) 地域ケア会議推進事業(令和2年度)	
実施内容	地域ケア推進 会議 の開催数
○地域ケア推進会議 第1回神崎市地域ケア推進会議 令和2年8月5日開催 第2回神崎市地域ケア推進会議 コロナウイルス感染拡大に伴い、書面会議にて開催	2 回
○地域ケアネットワーク会議 第1回地域ケアネットワーク会議 令和2年7月3日開催 第2回地域ケアネットワーク会議 令和2年10月19日開催	

令和2年度・地域支援事業実施状況(神崎市)

(2)任意事業(令和2年度)											
② 家族介護支援事業											
ア 介護教室の開催											
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)					
			・開催回数								
イ 認知症高齢者見守り事業											
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)					
高齢者見守りネットワーク事業	事業者、団体、機関	日常生活や業務の中で高齢者を見守るネットワーク登録事業者を募り、活動促進を図る。さらに、見守りを強化すべく犬の散歩で地域をまわる方に「わんわんパトロール」として協力を依頼した。	わんわんパトロール登録ネットワーク登録事業者数	99人	147	事業者					
			ネットワーク登録機関数	9機関							
			ネットワーク登録団体数	8団体							
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)					
認知症高齢者等見守りシール配布事業	認知症高齢者等	神崎市認知症高齢者等事前登録制度に登録していた方で、かつ希望される方を対象に携帯電話などで読み取ることのできるQRコードが印字されたシールを配布し、行方不明時の早期発見に繋がるよう努める。	配布数	9人							
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)					
認知症高齢者等見守り訓練	市民、団体	地域の見守り体制の強化を図るため、道に迷っている高齢者や不安そうにしている高齢者への声のかけ方や対応の仕方を練習するとともに、令和2年度より導入した見守りQRシールを使った見守り訓練を行った。	開催回数	1回	43人	43人					
ウ 家族介護継続支援事業											
(イ)介護者交流会の開催											
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)					
※介護用品の支給に係る事業											
事業名	対象者	実施内容			実人数	延べ人数					
紙おむつ支給事業	在宅寝たきり等高齢者	紙おむつクーポン券の支給 毎月5,000円/人、年額60,000円/人 上限			17人	163人					
(i)高齢者の個別の状態を踏まえた自立支援の観点に立った適切な用品の支給方針		(ii)任意事業における各事業の課題の把握、および対応方針の検討		(iii)介護用品支給の廃止・縮小に向けた令和3年度以降の新規対象者については、保健福祉事業へ移行するとともに、要							
状態が変化された際には、連絡をいただくとともに、半年に一度自宅訪問にて状態確認を行い、適切な利用につながっているか確認している。		介護用品支給以外の任意事業		介護用品の支給							
半年に一度の訪問時に、家族等へのニーズの聞き取りを行っており、今後どのように事業へつなぐかが課題。		なし									
(2)任意事業(令和2年度)											
③ その他の事業											
ア 成年後見制度利用支援事業											
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)								
成年後見制度利用支援事業	判断能力が十分ではない高齢者で、親族での申立が望めない者	身寄りのない認知症高齢者などについて市町が後見制度制度の申立などを行う。	・申立件数	0件							
成年後見制度利用支援事業	生活保護受給者等の低所得者でかつ後見開始、保佐開始又は補助開始の審判を受けた者	成年後見制度の利用にあたり、成年後見人等への報酬を負担することが困難な者に対し、報酬の助成を行う。	・助成件数	2件							
エ 認知症サポーター等養成講座											
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		延べ人数						
認知症サポーター等養成講座	地域住民等	各種団体や地域の集まりの場において、認知症に対する正しい理解や認知症の人に対する接し方を学ぶ講座を開催。	・開催回数	6回	401人						
オ 重度ALS入院時コミュニケーション支援事業											
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)					
カ 地域自立生活支援事業											
③地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)											
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)					
神崎市配食サービス事業	65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯又はこれに準ずる世帯に属する高齢者	月曜日から金曜日までの週5回を限度として提供するとともに、当該利用者の安否を確認し、異常等があった場合は関係機関へ連絡等を行う。	・配食数	9,953食	63人	681人					
④家庭内の事故等への対応の体制整備に資する事業											
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)					
緊急医療情報キット配布事業	65歳以上の単身世帯、高齢者のみ世帯、65歳以上が日中独居となる世帯及び65歳未満の要介護認定取得者	緊急連絡先・かかりつけ医等を記載した用紙や保険証の写しなどを入れた情報キットを作成。万が一の場合に迅速かつ適切な救急医療活動を行うための情報ツールとして活用する。	配布数	177人		1,015人					

令和２年度 主要事業の実施状況の概要 【吉野ヶ里町】

1 新規事業について

【認知症総合支援事業】

・認知症ケアパスの作成

ケアマネージャーや看護職、地域住民との検討・協議を実施し、認知症ケアパスを作成。町内全戸に配布し、住民への普及啓発を実施。

・認知症当事者発信支援事業

肥前精神医療センター、神崎市と連携して「認知症フォーラム」を企画し準備を進めたが、開催間近で、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止。

【地域ケア会議推進事業】

・吉野ヶ里ふれあいネットワーク見守り事業

ふれあいネットワーク協力事業者配布用ステッカー作成。

2 継続事業（主な事業）について

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の中止や縮小、開催時期の変更等を余儀なくされ、それに加え開催時の予防対策等、普段とは違った配慮が必要となった。

【一般介護予防事業】

地域版いきいき健康クラブは地域の通いの場の創設を目標に、住民に身近な地区の公民館で健康指導士による運動指導・歯科衛生士による口腔教室を２地区で開催。平成２８年度から開始し、１５地区が地域の通いの場として自主活動を継続中。

【在宅医療介護連携推進事業】

平成２８年度から神崎市郡医師会に神崎市と共同委託。退院支援ルールの実運用、医師会ホームページを開設し、事業の普及啓発を実施。

3 課題について

【介護予防・生活支援サービス事業】

町で実施する多様なサービスの創設。

【地域ケア会議推進事業】

自立支援・重度化防止に向けた個別課題解決のための自立支援型地域ケア会議における、ケアマネージャーの意識・資質の向上・力量形成。

個別会議で集積した地域課題を、課題解決に向けて政策形成へつなげていく。

【生活支援体制整備事業】

住民同士の支え合いの必要性についての普及啓発。

社会福祉協議会との連携と生活支援ボランティアの養成。

有償ボランティアによる住民主体の支え合い活動の仕組みづくり。

【認知症総合支援事業】

認知症の人や家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組みづくり。

令和2年度・地域支援事業実施状況(吉野ヶ里町)

1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和2年度)

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

(ア) 訪問型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数

(イ) 通所型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数

(ア) 介護予防把握事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
介護予防把握事業	要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者	看護師による訪問・相談を行い、状況・実態の把握、介入の必要性のアセスメントを実施し、介護予防につなげる。	・訪問による把握	101 件	
			・電話による把握	0 件	
			・その他(通いの場等)	231 件	
			相談件数	332 件	

(イ) 介護予防普及啓発事業

① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布					
事業名	対象者	実施内容	開催回数	参加者数(実)	参加者数(延)
町広報誌による普及啓発	町民	町広報誌を1ページ利用し介護予防に関する普及啓発を実施。	発行回数	12	
			発行部数	7,000	

② 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するための有識者等による講演会や相談会等の開催					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数(講演)		
			・開催回数(相談)		

③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等の開催					
---------------------------------------	--	--	--	--	--

(1) 運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
おたっしやクラブ教室	65歳以上の高齢者(要介護認定者を除く)	通所により日常の動作訓練等の各種サービスを提供し、高齢者の社会的孤立感の解消を図るとともに、運動を通して介護予防を図ることで、自立した生活の助長を図る。	・開催回数	193 回	49 人
					1,481 人
地域版いきいき健康クラブ	65歳以上の高齢者	公民館単位で健康運動指導士による指導の下、4か月間週に1回実施。運動・ストレッチ・コグニサイズ・講話を通して、運動・認知機能の維持・向上に努める。公民館単位で実施終了後は、継続した運動習慣と通いの場の構築を目指す。	・開催回数	32 回	41 人
					533 人

令和2年度・地域支援事業実施状況(吉野ヶ里町)

(2)栄養改善プログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
男のための料理教室	65歳以上の高齢者	男性高齢者が参加しやすいように男性に限定して実施。栄養改善等について知識と技術を学び、高齢者の低栄養化、生活習慣病を予防する。	・開催回数	12回	17人	163人
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
地域版歯っぴい教室	65歳以上の高齢者	公民館単位で在宅歯科衛生士による口腔指導を実施。	・開催回数	21回	255人	312人
(4)その他のプログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
認知症予防教室	概ね65歳以上の高齢者	認知症、MCI予防に効果的な活動を通して、認知機能やQOLの改善・維持を図る	いきいき音楽教室	12回	24人	153人
			ガンバルーン体操	12回	21人	200人
(5)プログラムに参加する医師の判断						
			単価	件数		
④ 介護予防に関する知識又は情報、各対象者の介護予防事業の実施の記録等を管理するための媒体(介護予防手帳等)の配布						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)

(ウ)地域介護予防活動支援事業						
①介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
			・開催回数			
②介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
介護予防(高齢者サークル)活動支援	65歳以上の高齢者(サークル会員)	高齢者の軽スポーツや手芸教室等のサークル活動を支援し、地域レベルでの介護予防及び生きがい活動につなげる。	・開催回数	34サー	659人	
地域版いきいき健康クラブフォローアップ教室	65歳以上の高齢者	地域版いきいき健康クラブ終了後、自主化した地域に対して、健康運動指導士を派遣し、地域に応じたフォローアップを実施する。地域活動組織の育成。	・開催回数	90回	201人	964人
介護予防活動参加普及啓発(見守り活動)支援	65歳以上の高齢者	地区毎に独居や高齢者夫婦世帯を訪問し、安否確認を行う見守り・訪問活動を実施。	・開催回数	29地区	256人	3,031人
③社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
自主活動(健康体操)支援	65歳以上の高齢者	体力の維持及び老化防止のために、運動を中心とした健康づくり教室を地区公民館等で実施。	・開催回数	56回	62人	978人

令和2年度・地域支援事業実施状況(吉野ヶ里町)

3 包括的支援事業(社会保障充実分)

(1)在宅医療・介護連携推進事業(令和2年度)

(ア)地域の医療・介護の資源の把握			
実施内容			
医療機関等(病院、医院、歯科医院、薬局等)・福祉事業所等(介護施設、介護事業所等)に情報提供を再依頼し、リストマップの追加・修正を行い、神崎市・吉野ヶ里町のホームページに掲載した。神崎市医師会のホームページにリンク先を掲載してもらった。			
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討			
実施内容			会議開催件数
・在宅医療拠点委員会7回(4/22、6/24、7/22、8/26、9/23、11/25、R3.2/24) ・神崎市医師会在宅医療介護連携協議会3回(5/13、12/16、3/3) ・グループ相談窓口連絡会議4回(5/27、7/29、11/4、3/10) ・神崎市郡内の医療・介護関係機関へ「在宅医療・介護連携に関するアンケート」を実施。病院・診療所(20/31)、歯科(13/24)、薬局(19/27)、訪問看護(3/3)、介護事業所(66/104)。(※回答数/総数)。アンケート調査で抽出された課題等について、グループ相談窓口において対応策の検討を行っている。			14回
(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進			
実施内容			
佐賀中部保健医療圏版の退院支援ルールを参考に、神崎市郡版の退院支援ルールを策定し、令和2年度より運用を開始。			
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援			
実施内容			
情報共有を目的として、佐賀県が推進しているICTシステム(カナミックシステム)の活用状況や課題等の検証を行う予定であった、コロナウイルスの影響で実施出来なかった。			
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援			
実施内容			相談窓口数
在宅医療・介護に関する相談対応及び連携支援を行う「神崎市分在宅医療・介護連携支援センター」を運営し、各グループ窓口と連携し、相談支援を行った。			5か所
			相談員数
			5人
(カ)医療・介護関係者の研修			
実施内容			多職種研修
グループ相談窓口による医療従事者、介護職員等を対象とした研修会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。各グループ窓口内の学習会を4グループ窓口中3グループ窓口で各2回実施。			(6回)
			その他研修数
(キ)地域住民への普及啓発			
実施内容			
・令和3年1月30日(土)に在宅医療・介護連携推進事業に伴う、市民公開講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。 ・ACPのリフレット『もしものときの医療・ケアについて』を作成した。			

(2)生活支援体制整備事業(令和2年度)

(ア)生活支援コーディネーターの配置			
実施内容			
平成28年4月より配置。 地域版いきいき健康教室を通して地域住民との関わりを持ち、事業の推進を図った。 また、第1層協議体への参加と委員と連携をおこない、生活支援・介護予防体制整備の推進を図った。 県が主催する生活支援コーディネーター研修への参加。 住民主体の通いの場へ出向き、町内15地区の公民館において支援をおこなった。 (感染症予防対策・指導員や介護予防推進員との調整・サポーター事業の普及啓発)			
(イ)協議体の設置			
実施内容			
平成29年4月に第1層協議体を設置。 令和2年度は、下記の内容にて6回開催した。 (開催日) (内容) ◎第1回 令和2年 6月26日 「わらい寄会(協議体)」の取り組みについての振り返り／令和2年度事業計画について ◎第2回 令和2年 8月24日 小城市・嬉野市の取組紹介／町内の外出支援について ◎第3回 令和2年10月 5日 町の公共交通の現状について(担当課より説明)／わがまちの社会資源の確認 ◎第4回 令和2年11月10日 小城市視察研修(小城市の生活支援体制整備事業について・支えあいセンターについて) ◎第5回 令和2年12月25日 視察研修を終えての振り返り／ニーズ調査についての検討 ◎第6回 令和3年 2月25日 生活おたすけボランティア講座(社協主催の講座への参加)			
(ウ)その他()			
実施内容			

令和2年度・地域支援事業実施状況(吉野ヶ里町)

(3) 認知症総合支援事業(令和2年度)	
①認知症初期集中支援推進事業	
実施内容	
認知症初期集中支援チームを平成30年2月から設置。 チーム員：認知症サポート医(肥前精神医療センター院長に委託) 保健師及び看護師(認知症地域支援推進員2名) 毎月実施をしているもの忘れ相談室終了後に情報共有のための支援チーム連絡会を実施。 前年度からの継続1事例に対して、訪問2回、終結会議を実施した。 認知症に関する相談は多いが、総合相談として対応し解決することが多く、今年度の新規事例に対するチームとしての活動はなかった。	
②認知症地域支援・ケア向上事業	
実施内容	
1) 認知症地域支援推進事業 平成28年4月から認知症地域支援推進員を配置。今年度は看護師2名配置。(1名はR2.7月～) 認知症予防・普及に関する出前講座(サポーター養成講座)、もの忘れ相談室の運営、相談後のフォロー、認知症ケア向上教室の企画運営、認知症カフェ等への支援及び連絡会を実施。 認知症ケアパスの作成に向けて、CMや看護職、地域住民との検討・協議を実施しケアパスを作成、全戸配布を行った。	
2) 認知症カフェ事業 三田川校区・東脊振校区に各1か所設置。三田川校区：すすめカフェ、東脊振校区：いしなりカフェ それぞれで、運営ボランティア等の協力を得ながら、月1回の事業を展開。	
3) もの忘れ相談室 肥前精神医療センターの院長を相談医として依頼し、毎月1回、計11回開催。相談者18人。 認知症の早期発見、早期対応、早期受診、進行の予防を図り、適切なケアに結びつける。	
4) 認知症地域ケア向上事業 ①認知機能相談会 5回開催 相談者数32人 平成30年から肥前精神医療センターと共同で実施している吉野ヶ里脳MRI健診受診者のうち、認知機能低下が疑われるものを対象に相談会を実施。 ②いきいきおれんじクラブ(認知機能向上教室) 開催回数：24回 参加者数：実25人、延べ236人 認知症やもの忘れに不安のある方を対象に、認知症専門スタッフ等による認知機能の維持・改善のための教室(12回/1クール×2クール)を開催。専門スタッフに加え、認知症サポーターをボランティアとして活用し、認知症の早期発見・進行予防を図るとともに、適切なケアに結び付ける。 ◎認知症サポーター参加者数：実3人、延べ32人	
5) 認知症本人発信支援事業 肥前精神医療センター、神崎市と連携して認知症フォーラムを企画し準備を勧めたが、チラシ作成、参加者申込みを行い、開催を待つだけの段階で、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。3月には次年度開催に向けての協議を実施。	
(4) 地域ケア会議推進事業(令和2年度)	
実施内容	開催数
1) 地域ケア会議の開催 個別課題のケア会議や多職種連携会議を4回開催。当初8回の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4回中止とした。4回中2回は佐賀中部広域連合のアドバイザー派遣事業を活用し、理学療法士・作業療法士・栄養士・歯科衛生士・薬剤師の5職種から助言をもらった。1回は令和2年度の地域ケア会議の説明を町内の居宅介護支援事業所と小規模多機能のCMIに行った。1回は吉野ヶ里町内の介護保険サービス事業所に対して、吉野ヶ里町の認知症施策等について説明とケアパスの作成についての意見聴取、吉野ヶ里町内の認知症介護指導者の紹介と認知症介護指導者から「認知症介護について」という題で講義を行ってもらった。 * 4回中止としたが、3/16分は令和3年度の委託説明や介護保険改正に伴う委託料の変更等について書面に通知を行った。	1 回
2) 地域ネットワーク構築(吉野ヶ里ふれあいネットワーク推進協議会) 地域ケア会議(個別事例検討レベル)等で吸い上げた内容等を、各構成機関と協議検討し高齢者のあらゆる問題に対しての予防・早期発見・早期対応を実現を目指すため、ふれあいネットワーク推進協議会(地域ケア推進会議を兼ねる)を開催した。 見守りネットワークの構築としては、平成27年度より協力事業者と協定を締結しているが、今年度からあらたに登録制度を導入し、より身近な商店や団体などへの協力者の拡充を図る。また、普及啓発のための協力者に配布する見守りステッカーを作成した。	

令和2年度・地域支援事業実施状況(吉野ヶ里町)

(2)任意事業(令和2年度)						
② 家族介護支援事業						
ア 介護教室の開催						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
家族介護者教室	要介護者等の家族及び介護や福祉に興味のある方等	介護家族や介護に関心のある方に対して、負担の軽減を図るため、介護に関する知識・技術の習得や情報交換を行う	福祉講座	2回	70人	99人
イ 認知症高齢者見守り事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
ウ 家族介護継続支援事業						
(イ)介護者交流会の開催						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
※介護用品の支給に係る事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		実人数	延べ人数
紙おむつ支給事業	在宅寝たきり高齢者等	在宅の高齢者に対して紙おむつを支給することにより、高齢者を介護している者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、高齢者の在宅生活の継続に向けて支援する。			2人	18人
(i)高齢者の個別の状態を踏まえた自立支援の観点に立った適切な用品の支給方針		(ii)任意事業における各事業の課題の把握、および対応方針の検討 介護用品支給以外の任意事業 介護用品の支給		(iii)介護用品支給の廃止・縮小に向けた申請者が少ない状況であり、すでに縮小している状況と考えられる		
介護用品支給申請後、個別に訪問調査を実施し、本人の状況を把握・検討を行い支給決定を行っている。		介護者交流会については、町社会福祉協議会の事業として実施し、周知や実施時の協力を行っていく。		周知不足なのか、申請者が少ない状況。対象者の把握が必要。		

(2)任意事業(令和2年度)						
③ その他の事業						
ア 成年後見制度利用支援事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			
成年後見制度利用支援事業	判断能力の不十分な高齢者(認知症高齢者等)	身寄りのない認知症高齢者などについて市町が後見制度制度の申立などを行う。 成年後見制度の利用にあたり、成年後見人等への報酬を負担することが困難な者に対し、報酬の助成を行う。	・申立件数	0件		
			・助成件数	0件		
エ 認知症サポーター等養成講座						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			延べ人数
認知症サポーター養成講座	地域住民等	認知症に対する正しい理解や認知症の人に対する接し方を学習する場として講座を開催。(地区や事業所、学校等に出向いての出前講座形式で実施)	・開催回数	7回		253人
オ 重度ALS入院時コミュニケーション支援事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)
カ 地域自立生活支援事業						
③地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)
食の自立支援事業(配食サービス)	65歳以上の単身世帯または高齢者のみ世帯で、心身の障害等のため調理が困難な方	月から土曜日の週6回を限度として見守りが必要な高齢者に対して、食の自立を支援。原材料費用相当分として1食400円の自己負担あり。	・配食数	8581	78人	8,581人

Ⅲ 令和2年度構成市町主催の地域ケア推進会議の実施状況

1. 開催回数

市町名	開催回数	会議名(他の会議を兼ねている場合も含む)
佐賀市	1回(書面)	佐賀市地域包括支援センター運営委員会
多久市	1回	多久市地域包括支援センター運営委員会
小城市	2回	小城市地域包括支援センター運営委員会
神崎市	2回(うち 1 回は書面)	神崎市地域ケア推進会議
吉野ヶ里町	1回	令和2年度吉野ヶ里町ふれあいネットワーク推進協議会 (おたっしや本舗吉野ヶ里町地域ケア推進会議)

2. 課題と方向性

(1) 認知症施策の推進

市町名	おたっしや本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
佐賀市	認知症に対する理解が不十分。	・先進地への聞き取り ・支援体制の強化	・子どもから大人まで様々な年代の認知症サポーターを更に養成し、地域で活動できる人を把握する。 ・認知症地域支援推進員と連携し、先進的な取り組みを参考にしながら、地域にあった支援体制づくり、体制強化を行う。
佐賀市	・身近に相談できる人がおらず、認知症の本人・家族が問題を抱えている。	—	・認知症ステップアップ講座を開催し、地域で活躍できるボランティアを育成する。 ・認知症ケアパスや認知症に関するチラシの配布・設置による相談機関の周知を図る。
佐賀市	・徘徊し行方不明になったときの捜索が困難。	—	・令和2年10月から開始した「佐賀市あんしん事前登録事業」の制度周知と推進を図っていく。
小城市	徘徊などに対する備えとして本人の行動パターンを把握しておくことが必要	—	見守りキーホルダー登録時や配食サービス調査時に行動パターン(よく行く場所等)を聞き取るシートを作成する。
小城市	行方不明者が発生した際に迅速に動ける体制づくりが必要	—	行方不明者発生時の動きのフローを作成する。 カナミックを用いて市、包括、警察等の関係者が情報をリアルタイムに共有し、円滑に操作ができるようにする。 「あんあんメール」、「OgiOgi アプリ」

			を活用する。
吉野ヶ里町	認知症を抱えている家族の認知症に対する理解の場や気軽に相談する場が少ない。家族も参加できる認知症カフェ等が少ない。認知症カフェ等の周知が家族に行き渡ってない。	—	・周知に関しては、認知症サポーター養成講座の実施や毎月の町の広報に認知症カフェやもの忘れ相談室の掲載を行っているので、継続して実施する。 ・令和3年度中に認知症カフェを2箇所増やす予定で、町内の事業所と調整していく。

(2)生活支援体制の整備

市町名	おたっしや本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
佐賀市	・高齢であることや身元保証人がいないことで住まいが確保できない。	—	・NPO 法人と連携した高齢者と大家とのマッチングを行う。
神崎市	住み慣れた自宅で最期まで暮らしたいという想いはあるが、山間部での一人暮らしは移動手段や買い物など生活面での課題がある。	山間部では移動手段や買い物に困る高齢者が多く、生涯家で住みたいという想いを支えるためには、交通面や買い物の手助けが必要ではないか。	生活支援コーディネーターが調整役として地域ケア推進会議に参加し、地域ケア推進会議で明らかとなったニーズや地域課題を協議体と共有し、資源の開発や調整のための話し合いを行っていく。
神崎市	地域の見守り体制をどのように充実させていくか。	・地域の見守りについて、昔は「向こう三軒両隣」と言っていたが、今はそれが全くない。住民の意識改革がなければ進まない。 ・いきいき百歳体操など地域の集まりの場に参加しない、閉じこもりの方へのアプローチが必要ではないか。	下記について検討を行う。 ①働いている世代をターゲットとした認知症サポーター養成講座の開催。 ②養成した認知症サポーターにいきいき百歳体操や認知症カフェなど地域の集まりの場での活動。 ③認知症高齢者等見守り訓練の拡充。 ④「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の事業」の中で、健診データや未受診者情報を用いた高齢者への訪問によるアプローチ。
吉野ヶ里町	配食サービスの事業所が少ない(病態食などに対応している事業所が少ない)	—	きざみ食や病態食などに対応する事業所を探していく。

(3)在宅医療・介護連携の推進

市町名	おたっしや本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
	逆流性食道炎の症状について。	・口腔体操の取り組み状況の確認。舌や義歯の清掃に関する助言等を通して口臭や誤嚥性肺炎予防を進める。	((4)要支援者の自立支援に資する介護の推進の多久市を参照)

(4)要支援者の自立支援に資する介護の推進

市町名	おたっしや本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
佐賀市	・言語障がい等口腔機能の問題で、人との交流の機会が減っている(閉じこもり)。	—	・言語聴覚士の在籍一覧の周知と活用のための研修会を開催する。
佐賀市	・栄養管理が不十分なため、筋力低下や疾病の重症化につながっている。	—	・保険事業と介護予防の一体化対策の中で、専門職との連携を検討する。
佐賀市	・近所に高齢者が集える場がない。	—	・高齢者が集える公的な場を協議する。
佐賀市	・未就労の子と高齢者の世帯で、生活費を高齢者の年金に頼っている。 ・障がいのある子と高齢者の世帯の子への支援が十分に入っていない。	・複合的な課題を持つ世帯の相談が増え、業務負担も増えている。	・福祉まるごと相談窓口や生活自立支援センター等との連携を深めるための研修や情報交換を行う。担当部署や関係機関と役割分担をしながら支援を進めることで、業務の負担軽減につなげていく。
多久市	誤嚥性肺炎のリスク。 (在宅医療・介護連携推進のテーマとしても検討)	・誤嚥性肺炎予防のため、残存歯や口腔内の清掃、かかりつけ歯科医への受診。 ・窒息予防のための食形態への注意、確認を引き続き行う。	課題を集約すると ①かかりつけ歯科医がない ②義歯の手入れができていない ③誤嚥性肺炎を起こしやすい 《取り組み》 ①口の健康への意識を高める ・口腔ケアについて動画作成し市民への啓発
多久市	義歯が合わない。	・義歯の不具合が不定愁訴の要因になり得るため、義歯作成後の歯科通院の助言。 ・利用できる歯科医院などの情報を提供する。	・義歯の適切な管理についても市民への啓発 ・歯科検診の受診を教育の機会とする ・かかりつけ歯科医をもつ ・かみかみ百歳体操の実施地区を増

多久市	水分摂取時にむせがある。	・浅めの湯飲みで顎が上らないかたちで飲んでもらう。 ・唾液腺マッサージ、口腔体操を促す。 ・地域での口腔体操教室とか実施できないか。	やす ②口のトラブルの連鎖・フレイル予防 ・歯科検診、75 歳健診の受診からの予防についての意識を高める ・介護予防での口腔フレイルチェックの推進 ③口腔機能の維持 ・往診による治療の実施
多久市	義歯を使わずに食事することによる口腔フレイルが起りやすい。	・口腔ケアへの意識づけが必要、歯科受診の定着化ができていない	・介護保険のケアプランサービスの導入 ・介護保険施設での口腔ケアの継続 ・デイケアやデイサービスでの口腔体操の継続
多久市	口腔ケアの継続や食事における水分管理の必要性の理解。	・かかりつけ歯科医からの健康教育が必要。 ・治療の継続ができる体制づくりが必要。	
小城市	栄養指導について気軽に相談できる場がない。	—	未定
小城市	サロンや百歳体操に取り組んでいない地区があり、社会参加の場が少ない。	—	サロン、百歳体操実施地区を増やせるよう普及啓発を行う。
神崎市	歯科未受診や低栄養など口腔や栄養面に課題があるケースが多い。	・いきいき百歳体操など地域の集まりの中で、食事や栄養面の困りごとなどの意見を聞きたい。 ・老人会等で話をする機会はないが、市主催の教室に講師として予防の話をしている。しかし参加者が少なく、同じ方ばかり参加しているので、限られた機会のなかでより多くの方に話ができないか。	下記について検討を行う。 ①地区の集まりの場で、専門職による出前講座の開催。 ②市主催の教室等における周知方法や参加者増について効果的な取組。
神崎市	家庭内での役割がなく、通所サービス利用日以外の日は何もせずに過ごされている高齢者に対して、家族の関わり方の支援が必要。	高齢者が家庭内で役割を持ち、自己肯定感が感じられるような家族の関わり方をどのように伝えていくか。	下記について検討を行う。 ①福祉系高校や大学、専門職団体による介護教室の開催。 ②家族介護者同士の情報交換や相談の場としてコミュニティカフェや認知症カフェ等の拡充。 ③ケアマネジャーや介護事業所による家族支援をさらに充実させるために研修会等の開催